



会期

2025.10.15 [水] - 17 [金]

会長

野口 佳裕

国際医療福祉大学医学部耳鼻咽喉科学

会場

成田国際文化会館

The 70th Congress of Japan Audiological Society
第70回 日本聴覚医学学会
総会・学術講演会

プログラム集



ご挨拶

皆様ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。第70回日本聴覚医学会学会総会・学術講演会を2025年10月15日（水）～17日（金）に成田国際文化会館にて開催することとなりました。国際医療福祉大学医学部は2017年に開学しましたが、耳鼻咽喉科学講座が主催させていただく初めての全国学会となります。歴史ある日本聴覚医学会を主催する機会を賜り、大変光栄なことと考えております。

本学会では、従来目玉として2つの主題を決めて参りました。主題1は、「難聴児医療・療育における多職種連携」です。各地域、医療機関での取り組みのご発表を皆様で議論していただき、すべての難聴児が最善の医療・療育を受けられるようにと祈っています。主題2は「学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断を踏まえた医療の課題」です。後天性難聴においても先天性難聴と同様に「遺伝子が関与しうる」ことを認識し、日常臨床に難聴の遺伝学的検査を活用して欲しいと考えております。

2つの主題に対応してシンポジウムと教育講演を企画しました。また、特別セミナーでは「いよいよ始まった難聴の遺伝子治療」として聴覚医学のホットな話題をご講演いただきます。一方、今回主題を含め207題という多くの一般演題をお申し込みいただきました。自身は一般演題の質疑応答を通して学んだことが多く、特別企画とともに一般演題の会場にも足を運んでいただき、議論に参加して欲しいと思います。

今回の学会から、一部の群を除き二人座長としたほか、質疑応答用紙が廃止され、Audiology Japan誌に掲載されてきた座長記もなくなります。その代わりに、予稿内容に変更がある場合には、必ず修正稿の提出をお願いしたいと思います。10月16日の夜には10年ぶりに「会員懇親の夕べ」を復活させました。簡単な懇親会ですが、難聴患者団体様のスピーチも予定していますのでご参加いただければと思います。

成田には、多くの初詣参拝客で有名な成田山新勝寺があります。また、成田の民芸・伝統工芸、うな重やそば・うどんなどのグルメを楽しめる約800メートルに渡る参道があります。ホームページには「成田を満喫！」のタブを作成しました。ご覧いただき、ぜひ門前町「成田」を楽しんでいただければと思います。

本学が誇る言語聴覚学科のスタッフとともに、国際医療福祉大学総出で皆様をお出迎えしたいと思っております。第70回日本聴覚医学会学会総会・学術講演会への皆様のご参加を心よりお待ちしております。

第70回日本聴覚医学会学会総会・学術講演会

会長 野口 佳裕

国際医療福祉大学医学部耳鼻咽喉科学

第70回
日本聴覚医学会
総会・学術講演会

国際医療福祉大学医学部耳鼻咽喉科学

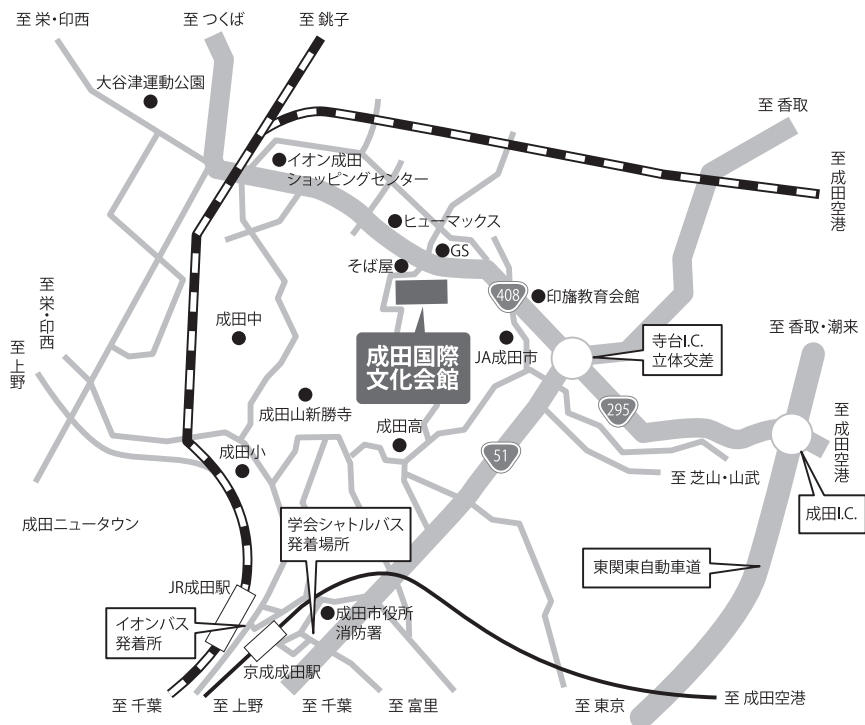
日時

令和7年
10月15日(水)～17日(金)

会場

成田国際文化会館
〒286-0021 千葉県成田市土屋303

交通のご案内



■電車をご利用の方

JR 成田線“成田駅”または 京成電鉄“京成成田駅”下車。

学会シャトルバス、成田市コミュニティバス、千葉交通イオンモール成田行路線バス、タクシーをご利用ください。

(学会シャトルバスについては次のページをご参照ください。)

■お車をご利用の方

東関東自動車道 成田インターより5分

駐車可能台数400台(無料)

■タクシーをご利用の方

駅前よりタクシーで10分程度です。但し、道路が混雑している場合は時間がかかります。

学会シャトルバス

学会シャトルバス 時刻表 ※変更となる可能性もありますので、最新の時刻表は
10月16日（木） 学会ホームページでご確認ください

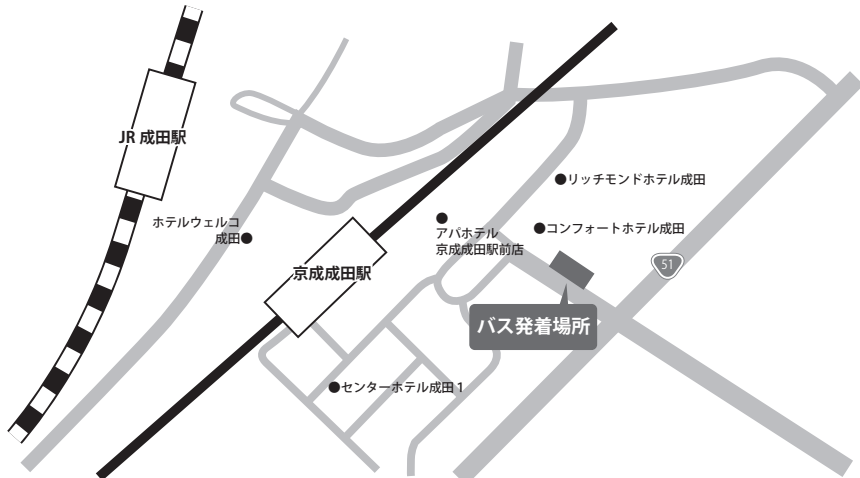
京成成田（コンフォートホテル成田前）→ 成田国際文化会館		成田国際文化会館→ 京成成田（コンフォートホテル成田前）	
7	50	7	
8	00 10 20 30 40 50	8	
9	00 10 20 30 40 50	9	
10	00 10 20 45	10	
11	00 30	11	
12	00	12	
13	00	13	
14	00	14	30
15	00	15	30
16		16	00 10 20 30 40 50
17		17	00 10 20 30 40 50
18		18	00 10 20 30 40 50
19		19	00 30 40 50
		20	00 10

10月17日（金）

京成成田（コンフォートホテル成田前）→ 成田国際文化会館		成田国際文化会館→ 京成成田（コンフォートホテル成田前）	
7	45	7	
8	00 10 20 30 40 50	8	
9	00 10 20 30 40 50	9	
10	00 10 20 45	10	
11	00 30	11	
12	00	12	
13	00	13	
14	00	14	30
15	00	15	30
16		16	00 10 20 30 40 50
17		17	00 10 20 30 40 50
18		18	00 10 20 30 40 50
19		19	00 45
		20	00

学会シャトルバス発着場所

<成田駅側>



京成成田駅東口側 コンフォートホテル成田近く
(京成成田駅から徒歩約3分、JR成田駅から徒歩約10分)

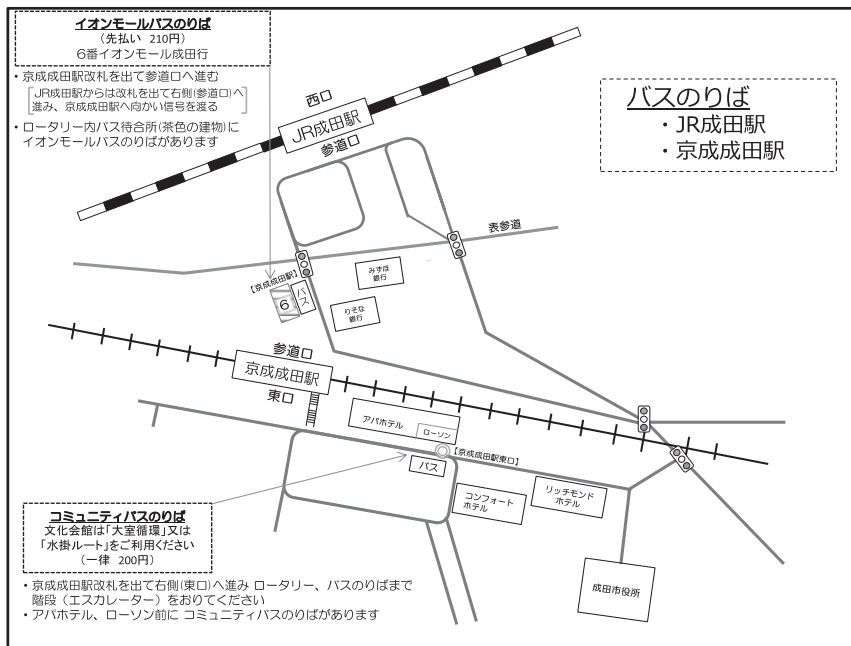
<成田国際文化会館側>



成田国際文化会館（学会会場）前ロータリー
(会場出ですぐ)

公共バス

■成田市コミュニティバス、千葉交通イオンモール成田行路線バスをご利用の方



<成田市コミュニティバス> 【大人200円】

(1)大室循環 (赤荻ルート) 1日7便

京成成田駅東口「成田市役所」より [所要約10分]

“文化会館”下車。

(2)水掛ルート1日2便

“京成成田駅東口”または“成田市役所”より [所要約10分]

“文化会館”下車。

<成田市コミュニティバス時刻表>

京成成田駅東口発		文化会館着
8:14	→	8:24
10:24	→	10:34
11:54	→	12:02
※12:54	→	13:04
15:35	→	15:45
※15:44	→	15:54
16:34	→	16:44
17:34	→	17:45
19:25	→	19:34

※水掛ルート、他は大室循環ルート

<千葉交通 イオンモール成田行路線バス> 【大人220円】

“京成成田駅” 6番のりばより [バス乗車時間 所要約10分]

終点 “イオン成田店” バス停下車後、学会会場まで徒歩10分。

イオンモール成田行は7時台から21時台まで、復路（京成成田駅行）は6時台から23時台まで、いずれも約15分間隔で運行。

（往路）京成成田駅 発

始発から9：36発までのバスは、

イオンモール成田従業員入口前を經由致します。

時	京成成田発
7	00 35
8	05 19 42
9	02 15 30 45
10	00 15 30 45
11	00 15 30 45
12	00 15 30 45
13	00 15 32 45
14	00 17 30 47
15	00 15 30 45
16	00 15 30 45
17	00 15 30 50
18	07 23 42
19	00 20 40
20	00 18 35 55
21	25

（復路）イオンモール 発

時	イオンモール 発	モール東 イオン成田店 発
6	35	36
7	18	19
8	35	36
9	18 31 46	19 32 47
10	01 16 31 46	02 17 32 47
11	01 16 31 46	02 17 32 47
12	01 16 31 46	02 17 32 47
13	01 16 31 48	02 17 32 49
14	01 16 33 46	02 17 34 47
15	03 16 31 46	04 17 32 47
16	01 16 31 46	02 17 32 47
17	01 15 30 45	02 16 31 46
18	05 22 38 55	06 23 39 56
19	13 33 52	14 34 53
20	13 33 48	14 34 49
21	08 25 37 59	09 26 38
22	16 41	00 17 42

ご案内

本学術講演会は現地開催を基本とし、学会終了後、第47回補聴研究会、第72回聴覚生理研究会など一部のセッションのオンデマンド配信を実施する予定です。
オンデマンド配信期間：2025年10月28日（火）正午～12月12日（金）

I. 会場

成田国際文化会館

- 第1会場 1階 「大ホール」
- 第2会場 1階 「小ホール」
- 第3会場 2階 「国際会議室」

II. 参加登録受付

- 参加登録は現地参加、事後オンデマンド配信ともに、学術講演会ホームページから (<https://www.gak-kai.co.jp/audiology70/>) の事前参加登録のみとなります。学会会場にご来場の前に、ホームページから参加登録をお願いします。
- 会場整理費は12,000円（会員・非会員、不課税）です。
- 医学部医学科学生、初期研修医ならびに文部科学大臣指定の言語聴覚士養成課程に在籍する学生、都道府県知事が指定する言語聴覚士養成所（専修学校）に在籍する学生の方は、会場整理費を無料といたします。これは日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会および日本聴覚医学会の方針を受けて、医学部生、研修医、言語聴覚士養成課程に在籍する学生に耳鼻咽喉科を理解してもらおうという意図に基づくものです。医学部以外の学生や大学院生には適応がありませんのでご了承ください。参加希望の方はあらかじめホームページより「参加申込用紙」をダウンロードし、必要事項をご記入の上、事前参加登録時に提出をしてください。
- ネームカード（参加証付き）は当日お渡しいたします。学会当日、参加事前登録完了時に配信されるお申込み控えメールに記載のQRコードをご提示ください。ネームカードの事前発送はいたしません。
- 若手会員の発表を奨励するための参加費助成申請をされた方も無料となります。9月中旬に該当者の「筆頭演者のメールアドレス」に受付方法をご連絡します。助成対象者も事前の参加登録が必要ですのでご注意ください。
- 総合受付は、成田国際文化会館1階「大ホールロビー」に設置しております。受付時間は下記の通りです。
10月16日（木）8:20～18:30
10月17日（金）8:20～17:00
- 新入会の手続きは、日本聴覚医学会事務局受付にてお願いいたします。なお、日本聴覚医学会WEBサイト内入会案内ページもご参照ください。
https://audiology-japan.jp/japan_audiological_society/admission/
- 日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会会員カード（ICカード）の受付と単位について
本学会は、日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定耳鼻咽喉科専門医制度に該当する関連学会です。日本聴覚医学会総会・学術講演会に参加して、会員カード（ICカード）の受付をすることで、学術業績・診療以外の活動実績として2単位、耳鼻咽喉科領域講習（日程表で鐘マーク）の受講で1時間1単位（上限2単位）を取得できます。



<現地参加の場合>

- (1) 「ICカード」による登録方法
 - ①学会参加登録：学会会場に来場時（総合受付付近で行います）。
 - ②専門医講習受講登録：耳鼻咽喉科領域講習・専門医共通講習の受講の入退室時。なお、②に先立ち、①の登録が必要です。
- (2) 「ICカード」の使用方法
カードリーダー上にカードを置くと、接続されたコンピュータ上に所有者名が表示されますので、コンピュータ画面を確認してから、カードを取ってください。
- (3) 「ICカード」を忘れた時
仮カードを発行（有料、デビット制）しますので、仮ICカード発行窓口（総合受付）までお越しください。
- (4) 講習開始以降の入室、または途中退出の場合、単位は取得できません。

<オンライン参加の場合>

- (1) 「オンライン」による登録方法
 - ①学会参加登録：オンライン開催期間中に、オンデマンド視聴画面にログインすることで受け付けられます。
 - ②専門医講習受講登録：耳鼻咽喉科領域講習対象の講演を最初から最後まで視聴いただいた場合に受講単位として認められます。

<取得可能単位>

- (1) 学会参加登録単位：2単位
- (2) 耳鼻咽喉科領域講習：1単位／セッション（会期中上限2単位）

<耳鼻咽喉科領域講習>

下記の講習で各講習1単位（上限2単位）を取得できます。

- 10月16日（木）8:50～10:20
シンポジウム「難聴児医療・療育における多職種連携」
- 10月17日（金）8:40～9:40
教育講演「学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断と課題」

なお、「補聴研究会」「聴覚生理研究会」「難聴遺伝子の研究会」は学会から独立して企画しています。これらは前述の単位上限とは別に、それぞれの研究会で申請している単位が認められます。詳細はホームページの各研究会のページを参照ください。

III. 演者の方へ

1. 発表時間は、「主題」は発表9分、質疑6分、「一般演題」は発表6分、質疑4分（キーノートレクチャーは発表14分、質疑6分）です。時間厳守にご協力ください。なお、第1会場で行われる主題、一般演題の質疑応答に関しては、座長の判断でシンポジウム形式（登壇形式）となる場合があります。
2. 発表はPCプレゼンテーションに限定いたします。講演会場には液晶プロジェクターとWindows版PowerPointを準備いたします。その他のプロジェクター（スライド・OHP等）の使用はできませんのでご注意ください。
3. 発表データの受付
 - ①発表データは、大ホール1階ホワイエでお預かりいたします。
 - ②口演発表開始40分前までにPCデータ受付にて発表データ受付をお済ませください。
 - ③発表データはワイド画面（16:9）にて作成してください（標準（4:3）のデータでも投影は可能ですが、左右に黒帯が発生いたします）。
 - ④すべてのご発表について、音声、動画の使用が可能です。PCデータ受付でお申し出ください。
 - ⑤発表者ツールは使用できません。
 - ⑥記録媒体をスタッフが触れる可能性があります、ご了承ください。
4. 利益相反（COI）開示のご案内
本学術講演会の演題発表に際し、筆頭演者および全ての共同演者の過去3年間の利益相反（COI）状態の開示をお願いいたします。詳細は本学術講演会ホームページをご確認ください。

5. データをお持ち込みの場合の注意点

- ①データは USB フラッシュメモリ に保存してお持ちください。
- ②フォントは OS 標準フォントをご使用ください。
 - ・日本語…MS ゴシック, MS P ゴシック, MS 明朝, MS P 明朝等
 - ・英語…Arial, Century, Century Gothic, Times New Roman 等
- ③動画を使用する場合、バックアップおよびトラブル対策のため、PC 本体もお持ちください。
- ④プレゼンテーションに他のデータ（静止画・動画・グラフ等）をリンクさせている場合は、必ず他のデータも一緒に保存し、作成した PC とは別の PC にて事前動作確認をお願いいたします。
- ⑤ファイル名は「演題番号_演者名.pptx」としてください。（例：003_山田太郎.pptx）
- ⑥メディアを介したウイルス感染の事例がありますので、最新のウイルス駆除ソフトでチェックしてください。
- ⑦お預かりしたデータは、学会終了後、責任を持って消去いたします。

6. PC 本体をお持ち込みの場合の注意点

- ①会場のプロジェクターへは一般的な外部出力端子（HDMI）での接続となります。Macintosh や一部の Windows PC では変換コネクタが必要となりますので、必ずご持参ください。会場での貸し出しはありません。
- ②バッテリーのみでの駆動はトラブルの原因となる可能性がありますので、AC アダプターを必ずご持参ください。
- ③スクリーンセーバー、ウイルスチェック、ならびに省電力設定（Macintosh の場合はホットコーナー）は予め解除してください。

7. 次演者は前もって会場内左手前方の「次演者席」にご着席ください。

IV. 予稿集に関する注意

1. 研究成果として正式な記録に残るのは予稿集に記載された内容です。
2. 予稿集の修正は認められません。
3. やむをえぬ事情により、予稿内容に修正が必要となった場合には、雛形を大会 HP「演題登録」ページからダウンロードしていただき、修正稿を10月24日（金）までに toukou@audiology-japan.jp に提出してください。
4. 修正稿は、学会終了後に学会誌 *Audiology Japan* に掲載される予定です。

V. 理事会

理事会を以下の要領で行います。

10月15日（水）15:00～17:00 ヒルトン成田 TOP 階「ダイヤモンドルーム」

VI. 代議員会（定時社員総会）

代議員会を以下の要領で行います。

10月15日（水）17:00～19:00 ヒルトン成田2階「ロイヤルホール①」

VII. 委員会

各委員会をヒルトン成田の宴会場において下記の要領で行います。

委員会	開催日	開催時間	会場
新規活動推進委員会	10月15日(水)	13:00～14:00	ヒルトン成田 2F 「パールルーム」
福祉医療委員会		13:00～14:00	ヒルトン成田 3F 「松」
用語委員会		13:00～14:00	ヒルトン成田 3F 「竹」
難聴対策委員会		13:00～14:00	ヒルトン成田 3F 「梅」
ガイドライン委員会		13:00～14:00	ヒルトン成田 3F 「葵」
広報委員会		13:00～14:00	ヒルトン成田 3F 「蘭」
講習会委員会		14:00～15:00	ヒルトン成田 3F 「松」
JIS・ISO委員会		14:00～15:00	ヒルトン成田 3F 「竹」
保険医療委員会		14:00～15:00	ヒルトン成田 3F 「梅」
聴覚・言語委員会		14:00～15:00	ヒルトン成田 3F 「葵」
ダイバーシティ委員会		14:00～15:00	ヒルトン成田 3F 「蘭」

VIII. クローク・機器展示・ホスピタリティルーム

学会期間中、下記フロアに設置いたします。

クローク：成田国際文化会館 1階「大ホールロビー」

機器展示：成田国際文化会館 1階「大ホールロビー」「大ホールホワイエ」

患者団体展示：成田国際文化会館 2階「ロビー」

ホスピタリティルーム：成田国際文化会館 1階「第1会議室＋第2会議室」
(共催：メドエルジャパン株式会社)

IX. 共催セミナー

混雑緩和のため、ランチョンセミナーのみ整理券を配布いたします。ランチョンセミナー整理券配布デスク(1階「大ホールロビー」)でお受け取りください。整理券配布枚数には限りがあり、各日程先着順に発券し、なくなり次第終了といたします。予めご了承ください。なお、配布時間が終了した時点で残っている整理券は、各ランチョンセミナー会場前にて配布いたします。

<ランチョンセミナー整理券配布時間>

10月16日(木) 8:20～11:10

10月17日(金) 8:20～11:50

X. 会員懇親の夕べ

下記、日時・会場で会員懇親の夕べを開催いたします。キッチンカーを用意して、お飲み物と軽食を準備しております。難聴患者団体による活動内容のご案内も実施しますので、ぜひご参加ください。

日時：10月16日(木) 18:50～19:50

会場：第2会場、ならびに屋外スペース(第2会場外)

XI. 託児所のご案内

本学術講演会ではお子さま連れの参加者に対し、保育・託児費用の助成を行います。助成金の申請締め切りは10月8日(水)正午となります。詳細は学術講演会ホームページから(<https://www.gakkai.co.jp/audiology70/nursley/>)ご確認ください。

XI. 会場内無線 LAN (Wi-Fi)

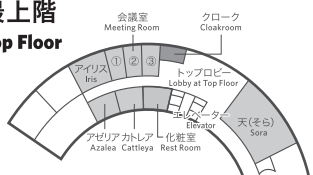
仮設の無線 Wi-Fi を設置いたします。利用者数に制限がございますのでご容赦ください。SSID、パスワードなどは会場でご確認ください。

会場のご案内 (10月15日(水))

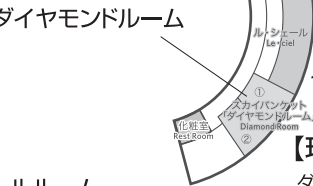
ヒルトン成田

各階のご案内 Floor Information

最上階 Top Floor

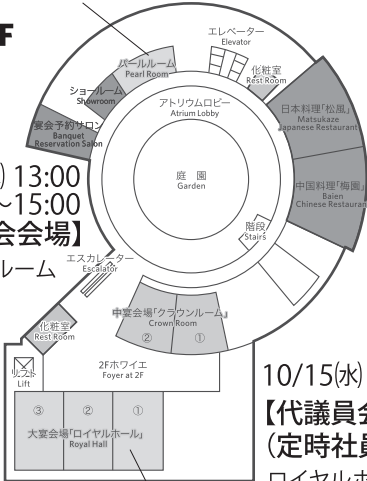


ダイヤモンドルーム



パールルーム

2F



10/15(水) 13:00
~15:00
【委員会会場】

10/15(水) 15:00
~17:00
【理事会会場】
ダイヤモンドルーム

10/15(水) 17:00~19:00
【代議員会】
(定時社員総会)
ロイヤルホール①

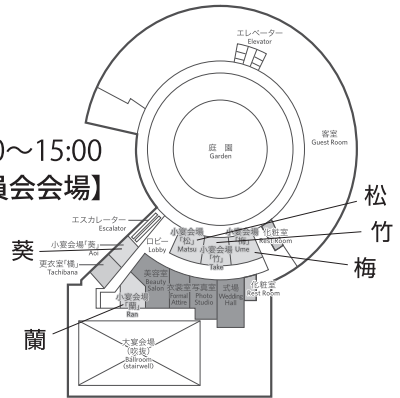
ロイヤルホール

3F

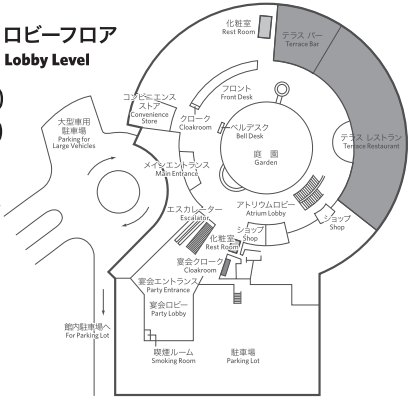
10/15(水) 13:00~15:00

【委員会会場】

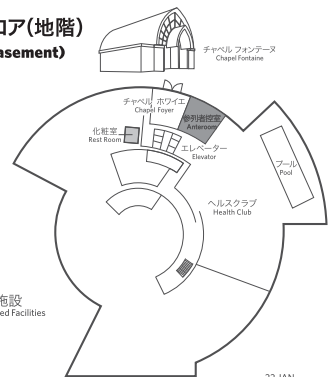
松・竹・梅・葵・蘭



ロビーフロア Lobby Level



グラウンドフロア(地階) Ground Floor (Basement)



- 宴会場 Banquet Room
- 宴会関連施設 Banquet-Related Facilities
- 化粧室 Rest Room
- レストラン Restaurant

耳鼻咽喉科領域講習のお知らせ

第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会では、以下の講演が領域講習の対象セッションとなります。
各講習1単位（上限2単位）を取得できます。

10月16日（木）8:50～10:20

第1会場（大ホール）

シンポジウム：難聴児医療・療育における多職種連携

- 講演：高野 賢一（札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座）
「北海道における難聴児支援の多職種連携
—医療・教育・行政をつなぐ地域ネットワークの展開—」
宇佐美真一（信州大学医学部人工聴覚器学講座）
「難聴児のためのより良い環境作りを目指して：長野県での取り組み」
福島 邦博（医療法人さくら会早島クリニック耳鼻咽喉科皮膚科）
「難聴児支援における多職種連携：
相談支援事業を中心にしたアプローチについて」
中川 尚志（九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科学教室）
「福岡県における医療・教育連携の成り立ち」
司会：中川 尚志（九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科学教室）
城間 将江（国際医療福祉大学大学院言語聴覚分野）

10月17日（金）8:40～9:40

第1会場（大ホール）

教育講演：学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断と課題

- 講演：高橋 優宏（国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科）
司会：石川浩太郎（国立障害者リハビリテーションセンター病院）

企業セミナー開催のお知らせ

第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会では以下のような企業セミナーを開催いたします。

10月16日（木） 12:00～12:50

第1会場（1F大ホール）

ランチョンセミナー1：ヒト脳聴覚野の不適切な可塑性変化とリハビリテーション

講 師：岡本 秀彦（国際医療福祉大学医学部生理学）

司 会：大森 孝一（京都大学大学院医学研究科頭頸部腫瘍先進治療学講座）

共 催：マキチ工株式会社

第2会場（1F小ホール）

ランチョンセミナー2：聴こえが変える高齢者のQOL

講 師：吉田 忠雄（名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座
耳鼻咽喉科）

「人工内耳“早期”装用が切り拓く聴覚と認知の未来」

原 大介（名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部）

「高齢者の“聴こえる生活”を支援する

一症例から学ぶ人工内耳リハと認知機能」

司 会：山本 典生（神戸市立医療センター中央市民病院）

共 催：株式会社日本コクレア

第3会場（2F国際会議室）

ランチョンセミナー3：リスニング・エフォート—難聴児・者の聞き取り労力—

講 師：田原 敬（茨城大学教育学部）

「ゼロからわかるリスニング・エフォート」

片岡 祐子（岡山大学病院聴覚支援センター）

「難聴児・者の評価と支援の展望」

司 会：中川 尚志（九州大学大学院医学研究院耳鼻咽喉科学分野）

共 催：デマント・ジャパン株式会社

10月16日（木） 16:30～17:20

第2会場（1F小ホール）

スイーツセミナー：補聴援助システム、使ったことがありますか？

講師：吉田 翔（日本赤十字社長崎原爆病院耳鼻咽喉科）

司会：阪本 浩一（大阪公立大学大学院医学研究科聴覚言語情報機能病態学
寄附講座）

共催：ソノヴァ・ジャパン株式会社

10月17日（金） 12:25～13:15

第1会場（1F大ホール）

ランチョンセミナー4：難聴児のきこえとことばを伸ばすために

講師：井上ひとみ（日本福祉大学中央福祉専門学校）

「育児語」の役割

木村 恵（弘前大学医学部附属病院）

「ことばの土台」をしっかり作る」

山田奈保子（福島県総合療育センター）

「ことばの土台」を広げる重要性」

土井 礼子（なないろ教室）

「生活言語を拡充させ「学習言語」につなげるには」

司会：土井 礼子（なないろ教室）

共催：メドエルジャパン株式会社

第2会場（1F小ホール）

ランチョンセミナー5：今から始める難聴の遺伝子診断

講師：西尾 信哉（信州大学医学部人工聴覚器学講座）

「誰でも分かる遺伝学的検査」

北尻真一郎（北尻耳鼻咽喉科）

「分かりやすい遺伝子診断の実際」

司会：野口 佳裕（国際医療福祉大学医学部耳鼻咽喉科学）

共催：株式会社ビー・エム・エル

第3会場（2F国際会議室）

ランチョンセミナー6：ワイドバンドティンパノメトリを知る
～中耳疾患から内耳疾患の診断へ～

講 師：我那覇 章（国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

司 会：鈴木 光也（森山記念病院耳鼻咽喉科）

共 催：ダイアテックジャパン株式会社

一般社団法人日本聴覚医学会

第47回補聴研究会プログラム

- 日 時：令和7年10月16日（木）17:00～19:00
※オンデマンド配信：令和7年10月28日（火）正午～12月12日（金）
- 会 場：成田国際文化会館 1階 大ホール（第1会場）
〒286-0021 千葉県成田市土屋303 TEL 0476-23-1331
- 会 費：2,000円
また入場には第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会の参加票が必要です。
- 代表世話人：伊藤 健（帝京大学）

演 題

座長：鈴木恵子

1. 聴性定常反応（ASSR）の基本的特徴および次世代型 ASSR の結果の解釈と乳幼児の補聴器フィッティングへの活用
千葉寛之¹⁾，伊藤 吏²⁾
 - 1) 新潟医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚学科
 - 2) 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座

座長：西村忠己

2. RICタイプ耳かけ型補聴器の普及とそれを支える技術の最新動向～AI, ワイヤレス, 充電式～
松崎史也, 上野 正
一般社団法人日本補聴器工業会

講 演

座長：伊藤 健

国際音声試験信号を用いた実耳測定による補聴器フィッティング
佐野 肇
北里大学医療衛生学部リハビリテーション学科言語聴覚療法学専攻

単 位

補聴器相談医1単位。補聴器相談医更新のための単位の付与が可能です。

現地参加の場合：当日，受講前・受講後に日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会ICカードで，入退会記録を設置のパソコンにて行ってください。

オンライン参加の場合：最初から最後まで視聴いただき，e-Testingに合格された場合に受講単位として認められます。

一般社団法人日本聴覚医学会

第72回聴覚生理研究会プログラム

日 時：令和7年10月16日（木）17:00～19:00
※オンデマンド配信：令和7年10月28日（火）正午～12月12日（金）
会 場：成田国際文化会館 2階 国際会議室（第3会場）
〒286-0021 千葉県成田市土屋303 TEL 0476-23-1331（代）
会 費：2,000円
代表世話人：中川尚志（九州大学）
担当世話人：山本典生（神戸市立医療センター中央市民病院）

演 題

「新規感音難聴治療の開発」

1. ヒト前庭オルガノイドを基盤とした蝸牛オルガノイド創出と難聴予防薬の探索
中村高志（京都府立医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）
2. GJB2 変異型難聴への AAV 遺伝子治療とゲノム編集治療の開発
神谷和作（順天堂大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

本研究会は耳鼻咽喉科領域講習として認可されております。入室時および退室時に、会場入り口に設置します講習会受付端末に日本耳鼻咽喉科学会会員 IC カードをかざしてください。5分以上の遅刻、途中退室は単位が付与されませんのでご注意ください。

オンライン参加の場合は、研究会の全てのプログラムを最初から最後まで視聴いただいた場合に受講単位として認められます。

本研究会は現地開催とオンデマンド配信のみでライブ配信はありません。状況により開催形態が変更される可能性もあり、その際はあらためてホームページ等で通知いたします。

一般社団法人日本聴覚医学会

第16回難聴遺伝子の研究会プログラム

日 時：令和7年10月17日（金）17:00～19:00
会 場：成田国際文化会館 1階 小ホール（第2会場）
〒286-0021 千葉県成田市土屋303 TEL 0476-23-1331
会 費：2,000円
代表世話人：宇佐美真一（信州大学）

プログラム：

1. シンポジウム

司会：宇佐美真一

「遺伝子診断のメリット」

正確な診断

江崎友子（あいち小児保健医療センター）

進行性の予測

小林有美子（岩手医科大学）

随伴症状の診断

荒井康裕（横浜市立大学）

難聴予防

上原奈津美（神戸大学）

補聴器の選択

大上麻由里（東海大学）

人工内耳治療

中西 啓（浜松医科大学）

2. ロールプレイ

「難聴の遺伝カウンセリング」

研究会は臨床遺伝専門医更新の単位（3単位）となります。

学術講演会日程

10月16日(木)

〔 〕 「耳鼻咽喉科領域講習」

〔 OD 〕 「オンデマンド配信」

第1会場 1F 大ホール

8:45	開会の辞
8:50	〔 OD 〕 〔 〕
	シンポジウム 難聴児医療・療育における 多職種連携 高野賢一、宇佐美真一 福島邦博、中川尚志 司会：中川尚志、城間将江
10:20	
10:30	
	第1群 聴覚障害児療育1 會根三彦、大金さや香
11:50	
12:00	ランチョンセミナー1 「ヒト脳聴覚野の不適切な可塑性変化とリハビリテーション」 岡本秀彦 司会：大森孝一
12:50	
12:55	奨励賞
13:15	会長講演 野口佳裕 司会：原 晃
13:35	
13:40	
	主題1-1 〔 OD 〕 難聴児医療・療育における 多職種連携 大森孝一、小淵千絵
14:40	
	主題1-2 〔 OD 〕 難聴児医療・療育における 多職種連携 山岨達也、廣田栄子
15:40	
	第2群 聴覚障害児療育2 工 穰、大原重洋
16:50	
17:00	〔 OD 〕
	第47回 補聴研究会
19:00	

第2会場 1F 小ホール

8:50	第3群 聴覚基礎 菅原一真
9:20	
	第4群 聴覚障害1 櫻井結華、山崎博司
10:30	
	第5群 聴覚検査1 岩崎真一、守本倫子
11:50	
12:00	ランチョンセミナー2 「聴こえが変える高齢者のQOL」 吉田忠雄、原 大介 司会：山本典生
12:50	
13:40	第6群 耳鳴 キーノートレクチャー 小川 都
14:00	
	第7群 耳鳴 高橋真理子、和佐野浩一郎
15:10	
	第8群 聴覚障害2 五島史行、阪本浩一
16:20	
16:30	
	スイーツセミナー 「補聴援助システム、使ったことがありますか？」 吉田 翔 司会：阪本浩一
17:20	
17:25	
	第9群 聴覚心理 坂本 圭、日高浩史
18:45	
18:50	
	会員懇親の夕べ
19:50	

第3会場 2F 国際会議室

8:50	
	第10群 補聴1 伊藤 健、柘植勇人
10:00	
	第11群 補聴2 佐野 肇、新田清一
11:10	
	第12群 補聴3 下倉良太、西村忠己
11:50	
12:00	ランチョンセミナー3 「リスニング・エフォート—難聴児・者の聞き取り労力—」 田原 敬、片岡祐子 司会：中川尚志
12:50	
13:40	
	第13群 人工中耳、人工内耳1 藤田 岳、本藏陽平
14:50	
	第14群 人工中耳、人工内耳2 平海晴一、松本 希
15:40	
	第15群 人工中耳、人工内耳3 山田武千代、山本典生
16:40	
17:00	〔 OD 〕
	第72回 聴覚生理研究会
19:00	

8

9

10

11

12

13

14

15

16

17

18

学術講演会日程

10月17日 (金)

〔 〕 「耳鼻咽喉科領域講習」

〔 OD 〕 「オンデマンド配信」

第1会場 1F 大ホール

第2会場 1F 小ホール

第3会場 2F 国際会議室

8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18

8:40	教育講演 〔 OD 〕〔 〕 学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断と課題 高橋優宏 司会：石川浩太郎
9:40 9:45	主題2 〔 OD 〕 学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断を踏まえた医療の課題 松永達雄、西尾信哉
11:30 11:35	特別セミナー※ いよいよ始まった難聴の遺伝子治療 Jay Rubinstein、吉村豪兼 司会：宇佐美真一
12:15 12:25	ランチョンセミナー4 「難聴児のきこえとことばを伸ばすために」 井上ひとみ、木村 恵 山田奈保子、土井礼子 司会：土井礼子
13:15 13:20	第16群 補聴4 佐藤宏昭、高橋邦行
14:30	第17群 人工中耳、人工内耳4 大島猛史、櫻尾明憲
15:40	第18群 人工中耳、人工内耳5 南 修司郎、吉田忠雄
16:50 17:00	閉会の辞

8:40	第19群 聴覚障害3 小林一女、大石直樹
9:50	第20群 聴覚障害4 神崎 晶、池園哲郎
10:50	第21群 聴覚障害5 内田育恵、森田由香
11:50	
12:25	ランチョンセミナー5 「今から始める難聴の遺伝子診断」 西尾信哉、北尻真一郎 司会：野口佳裕
13:15 13:20	
14:30	第22群 聴覚障害6 仲野敦子、白井杏湖
15:30	第23群 聴覚障害7 増田佐和子、上原奈津美
16:50 17:00	第24群 聴覚障害8 松延 毅、水足邦雄
19:00	第16回 難聴遺伝子の研究会

8:40	第25群 聴覚検査2 小池卓二、原田竜彦
9:50	第26群 聴覚検査3 田淵経司、川島慶之
10:50	第27群 補聴5 杉内智子、泉 修司
12:00	
12:25	ランチョンセミナー6 「ワイドバンドティンパノメトリを知る ～中耳疾患から内耳疾患の診断へ～」 我那覇 章 司会：鈴木光也
13:15	
13:30	第28群 聴覚リハビリテーション キーノートレクチャー 東野哲也
13:50	第29群 聴覚リハビリテーション 野原 信、白馬伸洋
14:40	第30群 聴性誘発反応 伊藤 吏、千葉寛之
15:30	第31群 聴覚障害児療育3 井上理絵、坂田英明

※吉村豪兼先生のご講演のみオンデマンド配信あり

シンポジウム：難聴児医療・療育における多職種連携 領域講習

8:50～10:20

司会 中川尚志
城間将江

北海道における難聴児支援の多職種連携
—医療・教育・行政をつなぐ地域ネットワークの展開—

高野賢一
札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

難聴児のためのより良い環境作りを目指して：長野県での取り組み

宇佐美真一
信州大学医学部人工聴覚器学講座

難聴児支援における多職種連携：相談支援事業を中心にしたアプローチについて

福島邦博
医療法人さくら会早島クリニック耳鼻咽喉科皮膚科

福岡県における医療・教育連携の成り立ち

中川尚志
九州大学医学部耳鼻咽喉科学分野

第1群：聴覚障害児療育1 10:30～11:50

座長 曾根三千彦
大金さや香

1. 当科の難聴児に対するオンライン多職種カンファレンスの検討

○對馬 結¹⁾、菅野智子¹⁾、金城伸祐¹⁾、松岡るみ子¹⁾、三上愛佳¹⁾、池田怜吉¹⁾、小林有美子²⁾
1) 岩手医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科、2) 岩手医科大学附属病院臨床遺伝学科

2. 秋田県における聴覚障害児・者に関わる多職種連携の実際

○佐藤 操¹⁾、煙山明美¹⁾、佐々木明美²⁾、椎名和弘³⁾、中澤 操³⁾⁴⁾⁵⁾
1) 秋田県立聴覚支援学校、2) 子ども発達支援センターオリブ園、
3) 秋田大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科講座、
4) 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター耳鼻咽喉科、5) 中通総合病院耳鼻咽喉科

3. 小児難聴診療における多職種連携

○有本友季子, 外池百合恵, 仲野敦子
千葉県こども病院耳鼻咽喉科

4. 新潟県の難聴児支援体制と難聴通級指導教室・難聴学級の現状

○泉 修司, 甲斐竜太, 八木千裕, 山岸達矢, 大島伸介, 堀井 新
新潟大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

5. 長野県における難聴児支援体制の構築について～関係機関との連携に着目して～

○原山綾花¹⁾, 通澤愛子¹⁾, 権田綾子²⁾, 室久志織²⁾, 吉村豪兼³⁾, 工 稔³⁾
1) 長野県難聴児支援センター, 2) 信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科,
3) 信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室

6. 静岡県における難聴児に対する多職種早期支援プログラムの構築

○ホロウェル ジェイソン¹⁾, 高木 明²⁾
1) 武蔵大学, 2) 静岡県立総合病院

7. 山口県難聴児支援体制整備事業における相談支援等業務の現状と課題
—県東部の取り組み—

○石田朋江¹⁾, 池田卓生²⁾, 金子志乃¹⁾, 山下真理¹⁾, 富田智美¹⁾, 福田章一郎³⁾
1) 鼓ヶ浦こども医療福祉センターリハビリテーション部,
2) 鼓ヶ浦こども医療福祉センター耳鼻咽喉科, 3) ことのはフレンズ

8. 山口県難聴児支援体制整備事業における相談支援等業務の現状と課題
—県西部の取り組み—

○中津愛子¹⁾²⁾, 橋本 誠¹⁾²⁾, 福田 彩¹⁾²⁾, 瀧野ひなた¹⁾²⁾, 大田 勇³⁾, 菅原一真¹⁾²⁾
1) 山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学,
2) 山口大学医学部附属病院高次統合感覚器医療センター, 3) 山口大学医学部附属病院検査部

ランチョンセミナー1 12:00~12:50

司会 大森孝一

ヒト脳聴覚野の不適切な可塑性変化とリハビリテーション

岡本秀彦

国際医療福祉大学医学部生理学

会長講演 13:15~13:35

司会 原 晃

聴覚医学との出会い—誘発電位から遺伝子解析へ—

野口佳裕¹⁾²⁾

1) 国際医療福祉大学医学部耳鼻咽喉科

2) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

主題1-1: 難聴児医療・療育における多職種連携 13:40~14:40

座長 大森孝一
小淵千絵

9. 人工内耳装用児の就学を支える多職種連携の取り組み
—当院でのアンケート調査と医療的支援の実際—

○山崎朋子, 諸頭三郎, 玉谷輪子, 藤井直子, 宮原佑汰, 平山愛恵, 藤原敬三, 内藤 泰, 山本典生
神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科

10. 当科における人工内耳装用児の多職種連携の現状と課題

○松永健志, 石川一葉, 東野好恵, 野田哲平, 小宗徳孝, 松本 希, 中川尚志
九州大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

11. 多職種連携による対応を行ったDLD合併人工内耳装用児の一例

○藤吉昭江, 福島邦博
医療法人さくら会 KIDS*FIRST

12. 難聴を伴う重症心身障害児ケアにおける多職種連携

○大金さや香¹⁾²⁾、佐藤友貴¹⁾²⁾、平島ユイ子¹⁾²⁾、城間将江¹⁾²⁾、東野哲也²⁾³⁾、小湊千絵⁴⁾

- 1) 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科,
- 2) 国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センター, 3) 国際医療福祉大学病院耳鼻咽喉科,
- 4) 筑波大学人間系

主題 1-2 : 難聴児医療・療育における多職種連携

14:40~15:40

座長 山唄達也
廣田栄子

13. 開業医と連携した県境地域における難聴児支援に関する検討
～医療従事者並びに関係職種へのアンケート調査○小林有美子¹⁾、菅野智子²⁾、對馬 結²⁾、後藤真一³⁾、金田裕治⁴⁾

- 1) 岩手医科大学臨床遺伝学科, 2) 岩手医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科,
- 3) 弘前大学耳鼻咽喉科頭頸部外科, 4) かねた耳鼻科医院

14. 難聴児(者)に対する聴覚管理と診断・支援に関する情報提供の現状
—全国難聴児の保護者アンケートから—○北 義子¹⁾、志磨村早紀²⁾、畠山 恵²⁾、岡野由実³⁾、氏田直子⁴⁾

- 1) 武蔵野大学人間科学研究所, 2) 武蔵野大学人間科学部,
- 3) 群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科,
- 4) きこえとことばのオンライン相談室こもれび

15. 聴覚障害をもつ子どもたちをとりまく医療環境の実態調査

○野田哲平、中川尚志
九州大学耳鼻咽喉科

16. 難聴児の早期診断・早期療育支援を踏まえた相談支援窓口の検討

○廣田栄子¹⁾³⁾⁴⁾、齋藤佐和¹⁾³⁾⁴⁾、大沼直紀²⁾³⁾⁴⁾

- 1) 筑波大学, 2) 筑波技術大学, 3) 東京都難聴児相談支援センター,
- 4) (公財) 聴覚障害教育福祉協会

座長 工 穰
大原重洋

17. 療育機関と医療機関と園の連携についての保護者へのアンケート調査

土井礼子
なないろ教室

18. 国際医療福祉大学成田病院における包括的難聴児医療への取り組み

○北 大輝¹⁾, 山本弥生²⁾, 西田久美子²⁾, 小淵千絵³⁾, 川末侑圭梨¹⁾, 我那覇 章⁴⁾, 野口佳裕⁴⁾
1) 国際医療福祉大学成田病院リハビリテーション技術部,
2) 国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科, 3) 筑波大学人間系,
4) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

19. 人工内耳装用児支援のための医療機関と聴覚特別支援学校の連携について —当事者の家族の視点から—

○紺野莉沙¹⁾, 森 つくり²⁾, 熊井正之¹⁾
1) 東北大学大学院教育学研究科, 2) 目白大学保健医療学部言語聴覚学科

20. 人工内耳装用児5名の日本語音声言語と日本手話の獲得 —大阪府手話言語条例とNPO こめっこの経験から—

○河崎佳子¹⁾²⁾, 武居 渡³⁾
1) 神戸大学大学院人間発達環境学研究科, 2) NPO こめっこスーパーバイザー,
3) 金沢大学人間社会研究域学校教育系

21. 医療機関との連携により人工内耳に移行した進行性難聴児

○小林美穂¹⁾, 白井杏湖¹⁾²⁾³⁾, 長濱瑠花¹⁾, 氏田直子¹⁾⁴⁾, 前田沙知²⁾³⁾, 富澤文子²⁾³⁾, 野波尚子²⁾³⁾,
平田翔子²⁾³⁾, 西山信宏²⁾³⁾, 塚原清彰²⁾
1) きこえとコミュニケーションのうさぎクラブ, 2) 東京医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野,
3) 東京医科大学病院聴覚・人工内耳センター, 4) きこえとことばのオンライン相談室こもれび

22. 小児難聴医療の実践と多職種連携の重要性 —聴覚特別支援学校での指導経験を生かした役割とは—

○三反田多香子¹⁾, 緒方順子¹⁾, 野口知里¹⁾, 南谷肇子¹⁾, 南谷隆明¹⁾, 宇佐美真一²⁾
1) いづみきこえのクリニック, 2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

23. 当院における先天性難聴児への早期介入＜(EHDI)＞と多職種・多機関連携の取り組み

○長井今日子¹⁾，中島恭子¹⁾，廣田栄子¹⁾²⁾，相馬真祈¹⁾，中島明人¹⁾，内田紘子¹⁾，長島 彩¹⁾，篠原怜珠¹⁾，石関杏奈¹⁾，宇佐美真一³⁾，古屋信彦¹⁾⁴⁾

1) 医療法人多聞会たかさき耳鼻咽喉科， 2) 筑波大学， 3) 信州大学医学部人工聴覚器学講座，

4) NPO 法人難聴者支援センター

第3群：聴覚基礎

8:50~9:20

座長 菅原一真

24. ウアバインの後半規管局所投与による難聴マウスモデルの検討

○新田義洋¹⁾, 栗岡隆臣¹⁾, 山本賢吾¹⁾, 佐野 肇²⁾, 山下 拓¹⁾

1) 北里大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学, 2) 北里大学医療衛生学部

25. 急性感音難聴発症時の蝸牛におけるステロイド作用機序の遺伝子発現解析

○前田幸英¹⁾, 大道亮太郎²⁾³⁾, 池園哲郎¹⁾

1) 埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科,

2) 岡山大学大学院医歯薬学総合研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科学, 3) おおみち耳鼻咽喉科医院

26. 蝸牛培養細胞株 (HEI-OC1) のストレス誘導性老化モデルにおけるスクラロースの効果

○鴨頭 輝¹⁾, 林 賢²⁾, 藤本千里¹⁾, 山岨達也³⁾, 近藤健二¹⁾

1) 東京大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 池袋耳鼻咽喉科はやしクリニック,

3) 東京通信病院耳鼻咽喉科

第4群：聴覚障害1

9:20~10:30

座長 櫻井結華

山崎博司

27. 紹介受診された鼓膜正常な伝音性・混合性難聴疑い例の検討

○福永有可里¹⁾, 吉田忠雄²⁾, 小林万純²⁾, 原 大介¹⁾, 谷口里花子¹⁾, 曾根三千彦²⁾

1) 名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部,

2) 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学耳鼻咽喉科

28. テプロツムマブによる聴力閾値変化の検討：治療12週後の中間解析

○西村幸司¹⁾, 岸本 曜¹⁾, 十名洋介¹⁾, 山崎博司¹⁾, 大森孝一²⁾

1) 京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科,

2) 京都大学大学院医学研究科頭頸部腫瘍先進治療学講座

29. 炎症性腸疾患における聴覚障害の臨床的特徴と予測因子の検討

○毛利香織¹⁾²⁾, 藤川太郎¹⁾, 和佐野浩一郎²⁾, 澤田光毅¹⁾, 川島慶之¹⁾, 伊藤 卓¹⁾, 堤 剛¹⁾

1) 東京科学大学耳鼻咽喉科, 2) 東海大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

30. 良好な術中モニタリングに反して術後聴力低下をきたした聴神経腫瘍症例の検討
 ○須田悟史¹⁾, 島貫茉莉江¹⁾²⁾, 上野真史¹⁾²⁾, 細谷 誠¹⁾²⁾, 西山崇経¹⁾²⁾, 小澤宏之¹⁾, 大石直樹¹⁾²⁾
 1) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室, 2) 慶應義塾大学病院聴覚センター
31. 残存聴力活用型人工内耳(EAS)術後の術側、非術側の裸耳聴力の変化について
 ○宮川麻衣子¹⁾²⁾³⁾, 西尾信哉²⁾³⁾, 滝澤佳余子¹⁾³⁾, 宇佐美真一²⁾³⁾
 1) みやがわ耳鼻咽喉科きこえクリニック, 2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座,
 3) NPO 法人信州きこえとことばのセンターやまびこ
32. 交通外傷後、30年以上経過して発症した耳性髄液漏の1例
 ○日高浩史, 朝子愛梨, 三谷彰俊, 八木正夫
 関西医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科
33. 補聴器装用を目指した有茎浅側頭筋膜弁を用いた外耳道再建術の工夫
 ○樽井彬人, 浅井康徳, 三輪 徹, 藤川太郎, 坂本璃彩, 三瀬和代, 白馬伸洋
 帝京大学医学部附属溝口病院

第5群：聴覚検査1

10:30~11:50

座長 岩崎真一
 守本倫子

34. 高・重度難聴児におけるVRA成功予測因子としてのリトルイヤーズスコアの有用性
 ○矢崎 牧, 任 智美, 都築建三
 兵庫医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科
35. 当科におけるVRA検査の検討
 ○椎名和弘¹⁾, 杉淵 愛¹⁾, 高橋 辰²⁾, 中澤 操³⁾⁴⁾, 山田武千代¹⁾
 1) 秋田大学耳鼻咽喉科, 2) 高橋耳鼻咽喉科眼科クリニック,
 3) 秋田県立リハビリテーション・精神医療センター, 4) 明和会中通総合病院
36. 通過帯域フィルタを用いて周波数情報を制限した音源が雑音下文聴取能に及ぼす影響
 ○岡 龍也¹⁾, 中市健志²⁾, 岡本康秀³⁾⁴⁾
 1) リオン株式会社医療機器事業部, 2) リオン株式会社研究開発センター,
 3) 東京都済生会中央病院耳鼻咽喉科, 4) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室

10月16日(木)

37. 無線補聴援助システムの効果的運用に向けた評価法の検討：スピーカ配置の最適化

○大原重洋¹⁾²⁾，大原朋美²⁾，廣田栄子³⁾

- 1) 聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部，
- 2) 豊田市こども発達センター児童発達支援センターなのはな（旧難聴幼児通園施設），
- 3) 筑波大学

38. 左右別 ACT 検査の孤発性聴神経腫瘍に対する有用性

○西山崇経¹⁾²⁾，細谷 誠¹⁾²⁾，島貫茉莉江¹⁾²⁾，上野真史¹⁾²⁾，須田悟史¹⁾²⁾，堀 明美¹⁾，原田遼平²⁾，
田村 匠²⁾，新田清一¹⁾³⁾，鈴木大介¹⁾³⁾，田中智英⁴⁾，小澤宏之¹⁾，大石直樹¹⁾²⁾

- 1) 慶應義塾大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科， 2) 慶應義塾大学病院聴覚センター，
- 3) 済生会宇津宮病院耳鼻咽喉科， 4) ダイアテックジャパン株式会社

39. LiD/APD 診断症例に対する ACT 検査の導入と聴取努力評価の試み

○橋本孝佑¹⁾，阪本浩一¹⁾²⁾³⁾，關戸智恵²⁾，内山良則⁴⁾，夏山美咲²⁾，藤本 恵²⁾，角南貴司¹⁾

- 1) 大阪公立大学大学院耳鼻咽喉病態学， 2) 大阪公立大学大学院聴覚言語情報機能病態学，
- 3) 医誠会国際総合病院イヤーセンター， 4) 大阪市立十三民病院リハビリテーション科

40. 聴覚情報処理検査と発達特性からみた LiD/APD の層別化の試み

○阪本浩一，關戸智恵

大阪公立大学大学院聴覚言語情報機能病態学

41. 聞き取り困難症例における TEN テストの検討

○天野彰子¹⁾，新川智佳子¹⁾，中村美代子¹⁾，阿部希望²⁾，佐藤榛希²⁾，後藤崇成¹⁾，天野真太郎¹⁾，
伊藤 吏¹⁾

- 1) 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座，
- 2) 山形大学医学部附属病院リハビリテーション部

ランチョンセミナー2：聴こえが変える高齢者のQOL

12:00～12:50

司会 山本典生

人工内耳“早期”装用が切り拓く聴覚と認知の未来

吉田忠雄

名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学講座耳鼻咽喉科

高齢者の“聴こえる生活”を支援する一症例から学ぶ人工内耳リハと認知機能

原 大介

名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部

第6群：耳鳴 キーノートレクチャー 13:40～14:00

座長 小川 郁

42. 耳鳴に対するプログラム医療機器（耳鳴治療用アプリ）の多施設共同ランダム化二重盲検比較試験

○和佐野浩一郎¹⁾、川崎泰士²⁾、小川 郁³⁾

- 1) 東海大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 静岡赤十字病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
3) オトクリニック東京耳鼻咽喉科

第7群：耳鳴 14:00～15:10

座長 高橋真理子
和佐野浩一郎

43. 耳鳴患者に対する疾病負荷および診療実態に関する定量的アンケート調査（続報）
—通院歴なし群の実態—

○神崎 晶¹⁾、和佐野浩一郎²⁾、谷下田雄一³⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター感覚器センター聴覚障害研究室,
2) 東海大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科, 3) 杏林製薬株式会社研究開発管理部

44. 聴覚異常感症に対する薬物治療の可能性
—二症例におけるアリピプラゾールの有効性より—

○五島史行, 大上研二, 和佐野浩一郎

東海大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

10月16日（木）

45. カルバマゼピンの内服が著効した軟口蓋ミオクローヌスによる耳鳴の1例

○丹羽正樹¹⁾，蒲谷嘉代子¹⁾，高橋真理子²⁾，岩崎真一¹⁾

1) 名古屋市立大学病院，2) 名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院

46. 年齢による耳鳴患者の臨床的特徴

○蒲谷嘉代子¹⁾，高橋真理子¹⁾²⁾，丹羽正樹¹⁾，岩崎真一¹⁾

1) 名古屋市立大学耳鼻咽喉・頭頸部外科，

2) 名古屋市立大学医学部附属みらい光生病院耳鼻咽喉科

47. 耳鳴・幻聴・精神疾患と向精神薬治療

○清水謙祐¹⁾²⁾，中村 雄²⁾，高橋邦行²⁾

1) 医療法人建悠会吉田病院耳鼻咽喉科・精神科，認知症疾患医療センター，

2) 宮崎大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学教室

48. 耳鳴の有無による加齢性難聴の経時的変化

○矢野悟志，前山啓充，山本圭介

国家公務員共済組合連合会大手前病院

49. 補聴器による音響療法を行った耳鳴患者の臨床像

—補聴器外来開設から8年間の検討—

○太田久裕¹⁾，山田浩之¹⁾²⁾，加瀬里菜¹⁾，吉田有砂¹⁾，布施慈光¹⁾，羽富彩映¹⁾，大石直樹²⁾

1) けいゆう病院耳鼻咽喉科，2) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室

第8群：聴覚障害2

15:10～16:20

座長 五島史行

阪本浩一

50. 聞き取り困難症の精査にて判明した小児感音難聴例

○小林万純¹⁾，吉田忠雄¹⁾，福永有可里²⁾，谷口里花子²⁾，原 大介²⁾，曾根三千彦¹⁾

1) 名古屋大学，2) 名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション科

51. 聞き取り困難症（LiD）の補聴援助システム購入に関する背景因子の検討

○小原まどか，高橋ちひろ，島田茉莉，伊藤真人

自治医科大学附属病院

52. LiD/APD 例における背景音に対するラウドネスと音声聴取時の Listening effort の検討

○村田彩奈¹⁾, 山本弥生²⁾, 川瀬哲明³⁾, 江橋佳音¹⁾, 岡本秀彦⁴⁾, 小渕千絵⁵⁾

1) 筑波大学大学院障害科学学位プログラム, 2) 国際医療福祉大学成田保健医療学部,
3) 東北大学, 4) 国際医療福祉大学医学部, 5) 筑波大学人間系

53. LiD/APD 症例に対する朗読音声を用いた雑音下聴取能評価の試み—第2報—

○副島力哉, 妻鳥敬一郎, 永田里恵, 坂田俊文

福岡大学医学部耳鼻咽喉科

54. 聞き取り困難症の生徒・学生への支援の現状

—補聴器・補聴援助システムの使用について—

○覚道真理子¹⁾, 田中香織²⁾, 北原 紘³⁾

1) 高清会高井病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 高清会高井病院リハビリテーション科,
3) 奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科学

55. 成人 Listening Difficulties 症例における背景要因が聴覚情報処理検査に与える影響

○坂本 圭¹⁾, 小渕千絵²⁾, 高山渥也¹⁾, 工藤弘恵¹⁾, 前田幸英¹⁾, 松田 帆¹⁾, 池園哲郎¹⁾

1) 埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科, 2) 筑波大学人間系

56. LiD/APD を抱える成人例の注意機能と情報処理速度

—視覚負荷課題を用いて—

○小渕千絵¹⁾, 川瀬哲明²⁾, 江橋佳音³⁾, 村田彩奈³⁾, 山本弥生⁴⁾, 滑川 恵⁵⁾, 岡本秀彦⁶⁾

1) 筑波大学人間系, 2) 東北大学, 3) 筑波大学大学院障害科学学位プログラム,
4) 国際医療福祉大学成田保健医療学部, 5) 筑波大学附属病院リハビリテーション科,
6) 国際医療福祉大学医学部

スイーツセミナー

16:30~17:20

司会 阪本浩一

補聴援助システム、使ったことありますか？

吉田 翔

日本赤十字社長崎原爆病院耳鼻咽喉科

座長 坂本 圭
日高浩史

57. 聞き取り困難における TFS (Temporal Fine Structure : 時間微細構造) 感度

○岡本康秀¹⁾²⁾, 森本隆司³⁾, 神崎 晶⁴⁾

- 1) 東京都済生会中央病院耳鼻咽喉科, 2) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室,
- 3) リオン㈱, 4) 国立病院機構東京医療センター耳鼻咽喉科

58. APD/LiD 症例にみられる社交不安症の検討

○滑川 恵¹⁾, 小淵千絵²⁾, 門脇誠一³⁾, 廣瀬由紀³⁾, 田渕経司³⁾

- 1) 筑波大学附属病院リハビリテーション部, 2) 筑波大学人間障害科学域,
- 3) 筑波大学医学医療系耳鼻咽喉科

59. 難聴当事者による聞こえ・聞き取り困難者向けの交流会共同開催の経験

○杉浦彩子¹⁾²⁾, 勝谷紀子³⁾, 佐野智子⁴⁾, 伊藤恵里奈¹⁾²⁾

- 1) 刈谷きこえのクリニック, 2) 国立長寿医療研究センター耳鼻いんこう科,
- 3) 東京大学先端科学技術研究センター当事者研究分野熊谷研究室,
- 4) 国際医療福祉大学赤坂心理・医療福祉マネジメント学部心理学科

60. 認知的失敗質問紙で捉える LiD/APD 例の記憶と聞こえにくさの関係

○山本弥生¹⁾, 小淵千絵²⁾, 西田久美子¹⁾, 野口佳裕³⁾

- 1) 国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科, 2) 筑波大学人間系,
- 3) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

61. 自閉スペクトラム症の聞き取り困難・聴覚過敏について

○中川あや¹⁾, 三好紀子²⁾, 松本 恵³⁾⁴⁾, 大崎康宏¹⁾

- 1) 市立池田病院耳鼻いんこう科, 2) ためなが温泉病院精神科・神経科,
- 3) 大阪大学大学院人間科学研究科, 4) 大阪大学大学院連合小児発達学研究科生命情報学

62. 主観的・客観的 Listening effort の神経動態の時間差解析

○岡本一宏¹⁾, 小浜尚也²⁾, 兒玉成博²⁾

- 1) 福井医療大学保健医療学部リハビリテーション学科,
- 2) 川崎医療福祉大学リハビリテーション学部言語聴覚療法学科

63. 左側頭葉病変例に観察された聴覚認知障害についての検討

○内山良則¹⁾, 阪本浩一²⁾, 關戸智恵²⁾, 小淵千絵³⁾

- 1) 大阪市立十三市民病院リハビリテーション科,
- 2) 大阪公立大学大学院聴覚言語情報機能病態学, 3) 筑波大学人間系

64. 知的障害児における雑音下聴取能力評価の試み

○久保愛恵¹⁾, 田原 敬²⁾, 勝二博亮²⁾

1) 茨城キリスト教大学文学部児童教育学科, 2) 茨城大学教育学野

座長 伊藤 健
柘植 勇人

65. 難聴の重症度 WHO 分類（2021年改訂）を用いた地域在住高齢者の2023-2024年難聴有病率

○下野真理子¹⁾、杉浦彩子¹⁾²⁾、内田育恵¹⁾³⁾、岩村祥平¹⁾、伊藤恵里奈²⁾、鈴木宏和⁴⁾、曾根三千彦⁵⁾、中島 務⁶⁾

- 1) 国立長寿医療研究センター、2) 刈谷きこえのクリニック、
3) 愛知医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科、4) 朝日町すずき耳鼻咽喉科、
5) 名古屋大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科、6) 一宮医療療育センター

66. 超高齢者（90歳代の高齢者）に対する補聴器適合の試み
—購入後の通院状況や装用状態を含めて—

○鈴木大介¹⁾、新田清一¹⁾²⁾、佐々木彩花¹⁾³⁾、辺土名 貢¹⁾、井澤 幹¹⁾、土居彪悟¹⁾、藤田 航¹⁾、横山珠花¹⁾、鈴木映里¹⁾、照井詩織¹⁾、神崎 陵¹⁾、高野賢一³⁾、大石直樹²⁾

- 1) 済生会宇都宮病院耳鼻咽喉科、2) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室、
3) 札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

67. 高齢者に対する補聴前後の認知機能 その2

○荒尾はるみ、古川歩実、勝部 香、中村玲奈、加藤有紀
荒尾内科・耳鼻咽喉科

68. 補聴器助成制度導入・非導入地域間での初回補聴器購入高齢者の特性の比較

○伊藤恵里奈¹⁾²⁾、杉浦彩子¹⁾²⁾、下野真理子²⁾、内田育恵²⁾³⁾、鈴木宏和⁴⁾、岩村祥平²⁾、中島 務²⁾⁵⁾

- 1) 刈谷きこえのクリニック、2) 国立長寿医療研究センター耳鼻咽喉科、
3) 愛知医科大学耳鼻咽喉科、4) 朝日町すずき耳鼻咽喉科、5) 一宮医療療育センター

69. 当院補聴器外来に長期間通院した難聴高齢者の語音弁別能の変化

○羽富彩映¹⁾、山田浩之¹⁾²⁾、吉田有砂¹⁾、布施慈光¹⁾、太田久裕¹⁾、加瀬里菜¹⁾、大石直樹²⁾、小澤宏之²⁾

- 1) けいゆう病院耳鼻咽喉科、2) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

70. 食事中の補聴器装用が「うるささ」に影響を及ぼす要因についての検討

○澤田拓也¹⁾²⁾、村上 健¹⁾、秦 若菜¹⁾、原 由紀¹⁾、佐野 肇¹⁾

- 1) 北里大学医療衛生学部言語聴覚療法学専攻、2) 北里大学大学院医療系研究科

71. 感音難聴症例による難聴ハンディキャップの自己評価

○佐藤紀代子¹⁾²⁾³⁾, 杉内智子²⁾, 井田彩織²⁾, 明神里香³⁾

- 1) 県立広島大学保健福祉学部保健福祉学科コミュニケーション障害学コース,
2) 杉内医院耳鼻咽喉科, 3) ことばの森

第11群：補聴2

10:00~11:10

座長 佐野 肇
新田清一

72. 低価格帯補聴器の指向性について

○嶋原俊太郎¹⁾²⁾, 木村優介¹⁾³⁾, 平野 良¹⁾, 瀧上 駿¹⁾, 岡田雅子⁴⁾, 野村泰之¹⁾, 大島猛史¹⁾

- 1) 日本大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科分野, 2) 西東京中央総合病院耳鼻咽喉科,
3) 木村耳鼻咽喉科, 4) 日本大学医学部板橋病院臨床検査科

73. Simulated-REM と REM の比較検討

○瀧上 駿¹⁾, 嶋原俊太郎¹⁾²⁾, 木村優介¹⁾³⁾, 平野 良¹⁾, 岡田雅子⁴⁾, 野村泰之¹⁾, 大島猛史¹⁾

- 1) 日本大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科, 2) 西東京中央総合病院耳鼻咽喉科,
3) 木村耳鼻咽喉科, 4) 日本大学医学部板橋病院臨床検査科

74. 成人補聴器装用例のイヤモード修理・再作成に関する検討

○横山珠花¹⁾, 鈴木大介¹⁾, 佐々木彩花¹⁾²⁾, 辺土名 貢¹⁾, 井澤 幹¹⁾, 土居彪悟¹⁾, 藤田 航¹⁾,
鈴木映里¹⁾, 照井詩織¹⁾, 神崎 陵¹⁾, 高野賢一²⁾, 大石直樹³⁾, 新田清一¹⁾³⁾

- 1) 済生会宇都宮病院耳鼻咽喉科, 2) 札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座,
3) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

75. AirPods Pro 2 と補聴器における実耳装用特性と目標処方との乖離比較

○佐藤俊樹¹⁾²⁾³⁾, 仲田綾音¹⁾, 徳田裕次郎¹⁾, 西村未希¹⁾, 西野 要¹⁾²⁾, 沖田 純¹⁾

- 1) 医療法人社団沖田耳鼻咽喉科, 2) 淡路中央補聴器センター,
3) 関西総合リハビリテーション専門学校言語聴覚学科

76. ヒアラブルデバイスのヒアリング補助プログラムの利得／周波数特性に関する検討

○辺土名 貢¹⁾, 鈴木大介¹⁾, 佐々木彩花¹⁾²⁾, 井澤 幹¹⁾, 土居彪悟¹⁾, 藤田 航¹⁾, 横山珠花¹⁾,
鈴木映里¹⁾, 照井詩織¹⁾, 神崎 陵¹⁾, 大石直樹³⁾, 小澤宏之³⁾, 富澤晃文⁴⁾, 新田清一¹⁾³⁾

- 1) 済生会宇都宮病院, 2) 札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座,
3) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室, 4) 国際医療福祉大学成田保健医療学部

77. Apple 製イヤホンを用いた一側性難聴症例の方向感覚改善効果

○福田 彩¹⁾²⁾, 菅原一真¹⁾²⁾, 瀧野ひなた¹⁾²⁾, 中津愛子¹⁾²⁾, 橋本 誠¹⁾²⁾, 津田潤子¹⁾, 山本陽平¹⁾

- 1) 山口大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科学,
- 2) 山口大学医学部附属病院高次統合感覚器医療センター

78. 高音急墜型感音難聴患者における臨床像および聴覚補償の検討

○上原奈津美¹⁾, 岩城 忍²⁾, 横井 純¹⁾, 藤田 岳¹⁾, 柿木章伸¹⁾³⁾, 丹生健一¹⁾

- 1) 神戸大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科,
- 2) 神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部,
- 3) 高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第12群：補聴3

11:10~11:50

座長 下倉良太
西村忠己

79. 軟骨伝導を模擬する耳介モデルを搭載した HATS による軟骨伝導振動子の出力評価

○下倉良太¹⁾, 西村忠己²⁾, 細井裕司²⁾

- 1) 大阪大学基礎工学部システム科学科, 2) 奈良県立医科大学

80. 当科の軟骨伝導補聴器フィッティングについての紹介患者の動向の変化

○岡安 唯¹⁾, 西村忠己¹⁾, 細井裕司²⁾, 齋藤 修³⁾, 宮崎優里³⁾, 山下哲範¹⁾, 北原 糺¹⁾

- 1) 奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科, 2) 奈良県立医科大学 MBT 研究所,
- 3) 奈良県立医科大学医療技術センター

81. 軟骨伝導補聴器購入時の公的な支援の経時的な変化について(1) —身体障害者に該当する症例—

○大塚進太郎¹⁾, 西村忠己¹⁾²⁾, 細井裕司³⁾, 森本千裕¹⁾, 岡安 唯¹⁾, 北原 糺¹⁾²⁾

- 1) 奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科,
- 2) 奈良県立医科大学附属病院めまい・難聴センター, 3) 奈良県立医科大学 MBT 研究所

82. 軟骨伝導補聴器購入時の公的な支援について(2) —身体障害者に該当しない症例—

○西村忠己¹⁾²⁾, 大塚進太郎¹⁾, 細井裕司³⁾, 森本千裕¹⁾, 岡安 唯¹⁾, 北原 糺¹⁾²⁾

- 1) 奈良県立医科大学耳鼻咽喉・頭頸部外科,
- 2) 奈良県立医科大学附属病院めまい・難聴センター, 3) 奈良県立医科大学 MBT 研究所

ランチョンセミナー3：リスニング・エフォート —難聴児・者の聞き取り労力—

12:00～12:50

司会 中川尚志

ゼロからわかるリスニング・エフォート

田原 敬
茨城大学教育学部

難聴児・者の評価と支援の展望

片岡祐子
岡山大学病院聴覚支援センター

第13群：人工中耳、人工内耳 1

13:40～14:50

座長 藤田 岳
本藏陽平

83. 非良聴耳に人工内耳植込術を施行した成人症例の手術前後の質的検討

○東野好恵, 松本 希, 石川一葉, 松永健志, 野田哲平, 小宗徳孝, 中川尚志
九州大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

84. 当院の雑音下聴取閾値検査（J-Matrix 検査）による聴取評価について

○櫻井 梓, 高橋優宏, 古舘佐起子, 岡 晋一郎, 小山田匠吾, 久保田江里, 植草智子, 小林憲司,
岩崎 聡
国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

85. 両側人工内耳装用とバイモーダル装用の両耳聴効果についての検討

○近藤香菜子¹⁾, 山崎博司¹⁾, 井口奈美江¹⁾, 森 尚彫¹⁾²⁾, 十名洋介¹⁾, 西村幸司¹⁾, 大森孝一¹⁾³⁾
1) 京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
2) 京都先端科学大学健康医療学部言語聴覚学科,
3) 京都大学大学院医学研究科頭頸部腫瘍先進治療学講座

86. Bimodal Fitting を使用した、人工内耳と補聴器の装用者の音源定位と雑音下語音閾値の検討

○植草智子, 高橋優宏, 古舘佐起子, 岡 晋一郎, 小山田匠吾, 久保田江里, 櫻井 梓, 小林憲司,
岩崎 聡
国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

10月16日(木)

87. 両側人工内耳装用児の音源定位と方向性マスキング解除の検討

○大西晶子¹⁾, 十名洋介¹⁾, 大森孝一²⁾

- 1) 京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
- 2) 京都大学大学院医学研究科頭頸部腫瘍先進治療学講座

88. 先天性重度難聴児における両側CI装用の利得評価：雑音下語音聴取能に基づく検討

○松原 彩¹⁾²⁾, 古川茂人¹⁾³⁾, 高木 明¹⁾²⁾³⁾, 上田裕子²⁾, 田呂丸いずみ²⁾, 木谷芳晴²⁾

- 1) 静岡社会健康医学大学院大学, 2) 静岡県立総合病院頭頸部・耳鼻いんこう科,
- 3) 静岡県立総合病院きこえとことばのセンター

89. NaidaCI M90 のオートセンスオペレーションシステムと小児用プログラムの効果—主に雑音下の聞き取り検査—

○間 三千夫¹⁾²⁾, 中原 啓¹⁾³⁾, 河野 淳⁴⁾

- 1) りんくう総合医療センター聴覚言語支援センター, 2) 非営利活動法人(NPO)優起の会,
- 3) りんくう総合医療センター頭頸部外科耳鼻咽喉科, 4) いけもと耳鼻咽喉科クリニック

第14群：人工中耳、人工内耳 2

14:50~15:40

座長 平海晴一
松本 希

90. Anatomy-Based Fitting における人工内耳聴取成績の検討

○権田綾子, 吉村豪兼, 室久志織, 山岡紗也, 工 穰
信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

91. 人工内耳術後の語音聴取成績の改善へ向けた聴覚リハビリテーション—ダイレクトインプット法を用いた検討—

○松田悠佑, 川上涼輔, 田中 佑, 小池隆史, 東野哲也
国際医療福祉大学病院耳鼻咽喉科

92. 成人後に対側の人工内耳植込術を施行した症例の装用閾値への対応

○花本麻佐美¹⁾, 諏訪圭子¹⁾, 太田有美²⁾, 大園芳之¹⁾, 佐藤 崇¹⁾

- 1) 大阪大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学,
- 2) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科

93. 低音域を裸耳残存聴力、中～高音域を人工内耳からの電気刺激を用いた調整方法による語音聴取の改善

○榎本千江子¹⁾、南 修司郎¹⁾、加我君孝²⁾

- 1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター耳鼻咽喉科、
2) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター感覚器センター

94. 環境音聴取能の変化について

—残存聴力活用型人工内耳および人工内耳の術前・術後—

○高山渥也¹⁾³⁾、小淵千絵²⁾、坂本 圭¹⁾、工藤弘恵¹⁾、前田幸英¹⁾、城間将江⁴⁾、松田 帆¹⁾、池園哲郎¹⁾

- 1) 埼玉医科大学病院耳鼻咽喉科、2) 筑波大学人間系、
3) 筑波大学大学院人間総合科学学術院障害科学学位プログラム、4) 国際医療福祉大学大学院

第15群：人工中耳、人工内耳 3

15:40～16:40

座長 山田武千代

山本典生

95. 人工内耳術後経過観察中、聴取能の悪化を認めた蝸牛型耳硬化症の一例

○小林 傑、櫻尾明憲、尾形エリカ、赤松裕介、小山 一、鴨頭 輝、近藤健二
東京大学耳鼻咽喉科

96. 人工内耳埋込を行った Common cavity の2例

○倉光佳澄、椎名和弘、山田武千代
秋田大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

97. 内耳奇形例に対する OTOPLAN を用いた人工内耳電極選択

○吉村豪兼、工 稔
信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

98. 小児 Waardenburg 症候群の人工内耳術後成績

○玉谷輪子、山崎朋子、藤井直子、宮原佑汰、平山愛恵、諸頭三郎、藤原敬三、内藤 泰、山本典生
神戸市立医療センター中央市民病院

99. 非対称性難聴で非良聴耳に人工内耳植込みを行った小児の検討

○石川一葉、松本 希、東野好恵、松永健志、野田哲平、小宗徳孝、中川尚志
九州大学病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

10月16日(木)

100. 人工内耳装用児と補聴器装用児の競合音声下での聴取特徴 —聴取成績と誤答分析による検討—

○佐藤友貴¹⁾³⁾, 小淵千絵²⁾, 城間将江¹⁾³⁾, 大金さや香¹⁾³⁾, 東野哲也³⁾⁴⁾

1) 国際医療福祉大学保健医療学部言語聴覚学科, 2) 筑波大学人間系,

3) 国際医療福祉大学クリニック言語聴覚センター, 4) 国際医療福祉大学病院耳鼻咽喉科

教育講演：学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断と課題領域講習

8:40～9:40

司会 石川浩太郎

高橋優宏

国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

主題2：学童期以降に発症した難聴に対する遺伝子診断を踏まえた医療の課題

9:45～11:30

座長 松永達雄

西尾信哉

101. 若年発症型両側感音難聴を呈した MYO6 遺伝子バリエントによる難聴の一例

○石川浩太郎¹⁾，西尾信哉²⁾，宇佐美真一²⁾

1) 国立障害者リハビリテーションセンター病院，2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

102. 当院における m.3243A>G バリエントによる難聴例の臨床的特徴とその問題点

○中西 啓¹⁾，佐原聡甫¹⁾，喜多淳哉¹⁾，宇佐美真一²⁾，西尾信哉²⁾，三澤 清¹⁾

1) 浜松医科大学耳鼻咽喉科，2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

103. MYH9 遺伝子バリエントによる難聴症例の臨床的特徴

○後藤真一¹⁾，西尾信哉²⁾³⁾，宇佐美真一²⁾³⁾

1) 弘前大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座，

2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座，3) 「難治性聴覚障害に関する調査研究」班

104. 5年以上聴力経過観察を実施した若年発症型両側性感音難聴症例の純音気導聴力の変化

○山本康平¹⁾，山本典生¹⁾，西尾信哉²⁾，宇佐美真一²⁾，内藤 泰¹⁾，藤原敬三¹⁾

1) 神戸市立医療センター中央市民病院耳鼻咽喉科，2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

105. 学童期以降の発症が疑われた遺伝性難聴症例

○西山信宏¹⁾²⁾，白井杏湖¹⁾²⁾，河口幸江¹⁾²⁾，富岡亮太¹⁾²⁾，西尾信哉³⁾，宇佐美真一³⁾，塚原清彰¹⁾

1) 東京医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野，2) 東京医科大学病院聴覚・人工内耳センター，

3) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

10月17日（金）

106. 学童期に人工内耳手術を行なった遺伝性難聴症例について

○岡 晋一郎, 高橋優宏, 古舘佐起子, 小山田匠吾, 久保田江里, 植草智子, 櫻井 梓, 小林憲司, 岩崎 聡

国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

107. 学童期から成人前までに人工内耳を要した症例の遺伝学的検討

○荒井康裕¹⁾, 高田顕太郎²⁾, 和田 昂³⁾, 逆井 清²⁾, 森下大樹³⁾, 西尾信哉⁴⁾, 宇佐美真一⁴⁾

1) 横浜市立大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科, 2) 横浜栄共済病院耳鼻咽喉科,

3) 横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科, 4) 信州大学人工聴覚器学

特別セミナー：いよいよ始まった難聴の遺伝子治療

11:35～12:15

司会 宇佐美真一

Efficacy and Safety of DB-OTO Gene Therapy in Pediatric Patients with Profound Hearing Loss

Jay Rubinstein

University of Washington, Seattle, WA, USA

感音難聴を治す！—遺伝子治療が変える難聴医療

吉村豪兼

信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

ランチョンセミナー4：難聴児のきこえとことばを伸ばすために

12:25～13:15

司会 土井礼子

「育児語」の役割

井上ひとみ

日本福祉大学中央福祉専門学校

「ことばの土台」をしっかり作る

木村 恵

弘前大学医学部附属病院

「ことばの土台」を広げる重要性

山田奈保子

福島県総合療育センター

生活言語を拡充させ「学習言語」につなげるには

土井礼子

なないろ教室

第16群：補聴4

13:20～14:30

座長 佐藤宏昭
高橋邦行

108. 伝音難聴に対する頭部接触による音声伝達法

○富澤晃文¹⁾，坂田英明²⁾

1) 国際医療福祉大学成田保健医療学部， 2) 川越耳科学クリニック

109. 異なった聴覚補償機器を選択した両側伝音難聴の母子例

○稲葉尚彦¹⁾，須川愛弓¹⁾，臼井智子²⁾，増田佐和子²⁾

1) 国立病院機構三重病院リハビリテーション科， 2) 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科

110. 一側性難聴に対する ADHEAR の効果と有用性

○川上涼輔¹⁾，松田悠佑¹⁾，小池隆史¹⁾，田中 佑¹⁾，野尻 尚²⁾，東野哲也¹⁾

1) 国際医療福祉大学病院耳鼻咽喉科， 2) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

10月17日（金）

111. 先天性外耳道閉鎖症を伴う両側重度混合難聴症例に対する Baha 両側装用の聴覚成績
○野尻 尚¹⁾, 松田悠佑²⁾, 田中 佑²⁾, 小島敬史³⁾, 東野哲也²⁾
1) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科, 2) 国際医療福祉大学病院耳鼻咽喉科,
3) 国立病院機構栃木医療センター耳鼻咽喉科
112. 難治性好酸球性中耳炎例に対する生物学的製剤と Baha[®] による聴覚管理
○高木 嶺¹⁾, 野尻 尚¹⁾, 松田悠佑²⁾, 田中 佑²⁾, 岡野光博¹⁾, 野口佳裕¹⁾, 東野哲也²⁾
1) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 国際医療福祉大学病院耳鼻咽喉科
113. 骨固定型補聴器（Baha）症例の埋込術後の効果予測における骨導語音の有用性の検討
○長瀬航輝¹⁾, 内山唯史¹⁾, 吉川藻汐¹⁾, 西川勇大¹⁾, 相澤圭洋²⁾, 逆井 清³⁾, 荒井康裕²⁾
1) 横浜市立大学附属病院リハビリテーション部耳鼻咽喉科,
2) 横浜市立大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
3) 横浜市立大学附属市民総合医療センター耳鼻咽喉科・頭頸部外科
114. 新規骨固定型補聴器（Osia システム）の有効性評価
—Baha との両耳装用効果に関する検討—
○坂井亜美, 寺岡正人, 羽藤直人
愛媛大学医学部付属病院耳鼻咽喉科

第17群：人工中耳、人工内耳 4

14:30～15:40

座長 大島猛史
榎尾明憲

115. 人工内耳装用児の言語発達と療育の重要性
桑原 桂
姫路獨協大学保健医療学部言語聴覚療法学科
116. 人工内耳装用児をもつ難聴者の両親へのアンケート調査
○原 大介¹⁾, 吉田忠雄²⁾, 福永有可里¹⁾, 谷口里花子¹⁾, 小林万純²⁾, 曾根三千彦²⁾
1) 名古屋大学医学部附属病院リハビリテーション部,
2) 名古屋大学大学院医学系研究科頭頸部・感覚器外科学耳鼻咽喉科
117. 人工内耳装用者を支える家族の QOL 評価
○實川純人, 海崎 文, 木村綾美, 吉田有梨枝, 高野賢一
札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

118. 人工内耳の術前後のイメージの差は満足度に影響するのか

○山岡紗也, 権田綾子, 吉村豪兼, 工 穰
信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科

119. 企業と連携した人工内耳装用者サポートルームの院内設置と2年間の利用実態分析

○山崎博司¹⁾, 近藤香菜子¹⁾, 井口奈美江¹⁾, 十名洋介¹⁾, 西村幸司¹⁾, 大森孝一²⁾
1) 京都大学大学院医学研究科耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
2) 京都大学大学院医学研究科頭頸部腫瘍先進治療学講座

120. 当科における人工内耳スピーチプロセッサのアップグレードの現状

○伊勢桃子, 折田頼尚
熊本大学耳鼻咽喉科頭頸部外科

121. N22 人工内耳症例における長期装用後の変化

○富澤文子¹⁾²⁾, 西山信宏¹⁾²⁾, 野波尚子¹⁾²⁾, 前田沙知¹⁾²⁾, 平田翔子¹⁾²⁾, 白井杏湖¹⁾²⁾, 塚原清彰¹⁾
1) 東京医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野, 2) 東京医科大学病院聴覚・人工内耳センター

第18群：人工中耳、人工内耳 5

15:40~16:50

座長 南 修司郎
吉田忠雄

122. 過去5年間に当科にて聴神経腫瘍摘出と同時同側人工内耳植え込み術を施行した8例の検討

○細谷 誠¹⁾²⁾, 山中歩美¹⁾, 須田悟史¹⁾²⁾, 島貴茉莉江¹⁾²⁾, 上野真史¹⁾²⁾, 西山崇経¹⁾²⁾, 小澤宏之¹⁾, 大石直樹¹⁾²⁾
1) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室, 2) 慶應義塾大学病院聴覚センター

123. 術中 eSRT の出現傾向と AutoNRT 閾値との関係について

○榎本千江子¹⁾, 南 修司郎¹⁾, 加我君孝²⁾
1) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター耳鼻咽喉科,
2) 独立行政法人国立病院機構東京医療センター感覚器センター

124. 人工内耳術後早期音入れによるインピーダンスの変化

○室久志織, 吉村豪兼, 権田綾子, 山岡紗也, 工 穰
信州大学医学部附属病院耳鼻咽喉科頭頸部外科

10月17日(金)

125. CI-2004 を用いた人工内耳装用者における語音弁別能の経時的変化についての検討

○小林憲司, 高橋優宏, 古舘佐起子, 岡 晋一郎, 小山田匠吾, 久保田江里, 植草智子, 櫻井 梓, 岩崎 聡

国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

126. 成人人工内耳症例の単音明瞭度初期改善経過の検討

○赤松裕介¹⁾, 廣田栄子²⁾, 尾形エリカ¹⁾, 鴨頭 輝¹⁾, 小山 一¹⁾, 坂田阿希¹⁾, 樫尾明憲¹⁾, 近藤健二¹⁾

1) 東京大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 筑波大学

127. 成人期中途難聴人工内耳装用者における単音明瞭度の検討 4種の語表比較

○尾形エリカ¹⁾, 赤松裕介¹⁾, 廣田栄子²⁾, 鴨頭 輝¹⁾, 小山 一¹⁾, 坂田阿希¹⁾, 樫尾明憲¹⁾, 近藤健二¹⁾

1) 東京大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 筑波大学

128. 高齢者における人工内耳の装用効果—第2報—

○岩城 忍¹⁾, 横井 純²⁾, 上原奈津美²⁾, 藤田 岳²⁾, 柿木章伸³⁾, 丹生健一²⁾

1) 神戸大学医学部附属病院リハビリテーション部,

2) 神戸大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科,

3) 高知大学医学部附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

座長 小林一女
大石直樹

129. 新生児聴覚スクリーニングを受けずに難聴診断に至った小児例の検討

○北野雅子¹⁾，林 希朗²⁾，大原奈里³⁾

1) 三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科，

2) 三重大学医学部附属病院リハビリテーション部， 3) 三重大学医学部附属病院検査部

130. 当科における新生児聴覚スクリーニング Pass 後難聴症例の検討（第二報）

○末松真弓，中村高志，兵庫美砂子，瀧 正勝

京都府立医科大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室

131. 18トリソミー、13トリソミーの難聴・治療についての検討

○佐藤梨里子¹⁾，吉村豪兼²⁾，工 穰²⁾

1) 長野県立こども病院耳鼻咽喉科， 2) 信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

132. 先天性サイトメガロウイルス感染症8児の臨床像と問題点

○新川智佳子¹⁾，天野彰子¹⁾，中村美代子¹⁾，天野真太郎¹⁾，阿部希望²⁾，佐藤榛希²⁾，後藤崇成¹⁾，
伊藤 吏¹⁾

1) 山形大学医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座，

2) 山形大学医学部附属病院リハビリテーション部

133. バルガンシクロビルを投与された先天性サイトメガロウイルス感染症3例の聴力経過

○伊藤有未¹⁾，杉本千鶴²⁾，藤枝重治¹⁾

1) 福井大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科， 2) 福井勝山総合病院耳鼻咽喉科

134. 3歳児健診を契機に当科を受診した症例の検討

○外池百合恵，有本友季子，仲野敦子

千葉県こども病院耳鼻咽喉科

135. 通常学級に在籍する聴覚障害児の聞こえのQOL、聴力正常児との比較から

中川辰雄

横浜国立大学

10月17日(金)

第20群：聴覚障害 4

9:50~10:50

座長 神崎 晶
池園哲郎

136. 突発性難聴患者の予後予測マーカーとしての血中ビタミンDの有用性

○高橋恵里沙¹⁾, 宇田川友克¹⁾²⁾, 中澤 宝¹⁾³⁾, 平林源希¹⁾, 栗原 渉¹⁾, 高橋昌寛¹⁾, 櫻井結華¹⁾,
山本 裕¹⁾, 小島博己¹⁾

1) 東京慈恵会医科大学耳鼻咽喉科, 2) 東邦大学医療センター大橋病院耳鼻咽喉科,
3) 太田総合病院耳鼻咽喉科

137. 片側性急性感音性難聴358例の臨床統計

根本俊光
成田赤十字病院耳鼻咽喉科

138. 突発性難聴の治療アルゴリズムを用いた長野県内多施設共同前向き研究
～アルゴリズム逸脱例の検討

○鬼頭良輔, 工 穰
信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

139. 突発性難聴罹患後の非対称性・一側性難聴者の不安について
～自由記入アンケートの質的分析から

○久保田江里, 高橋優宏, 古館佐起子, 岡 晋一郎, 小山田匠吾, 植草智子, 櫻井 梓, 小林憲司,
岩崎 聡
国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

140. 急性感音難聴に対して中耳洗浄液中 CTP 値と治療後聴力改善、発症時症候との関連
性の検討

○河野正充, 大谷真喜子, 保富宗城
和歌山県立医科大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科

141. 脳血管障害による両側聴放線の局所障害で発症した中枢性感音難聴の一症例

○穂吉亮平¹⁾²⁾, 田中康広²⁾, 加我君孝¹⁾³⁾
1) 東京医療センター臨床研究(感覚器)センター,
2) 獨協医科大学埼玉医療センター耳鼻咽喉・頭頸部外科, 3) 神尾記念病院

第21群：聴覚障害5

10:50～11:50

座長 内田育恵
森田由香

142. 主観的難聴と労働・身体的問題の関連性：インターネット大規模横断研究からの報告
○鈴木 淳¹⁾，高橋ひより¹⁾，高井俊輔¹⁾，池田怜吉²⁾，香取幸夫¹⁾
1) 東北大学医学部耳鼻咽喉科・頭頸部外科，2) 岩手医科大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科
143. 一般地域住民における4分法AとBの聴力レベル分布および自覚症状の比較
○杉浦彩子¹⁾²⁾，下野真理子²⁾，内田育恵²⁾³⁾，伊藤恵里奈¹⁾²⁾，岩村祥平²⁾，鈴木宏和⁴⁾，曾根三千彦⁶⁾，
中島 務⁵⁾
1) 刈谷きこえのクリニック，2) 国立長寿医療研究センター耳鼻いんこう科，
3) 愛知医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科，4) 朝日町すずき耳鼻咽喉科，
5) 一宮医療療育センター，6) 名古屋大学耳鼻咽喉科
144. 抗加齢ドックに参加した健常成人における聴力と軽度認知機能障害に関する検討
○寺岡正人，坂井亜美，羽藤直人
愛媛大学医学部耳鼻咽喉科
145. 高齢者における雑音下語音明瞭度の検討—健聴者と難聴者の比較—
○亀井昌代¹⁾，鈴木万達¹⁾，池田怜吉¹⁾，平海晴一²⁾，米本 清³⁾，中村 理⁴⁾，堂脇 優⁴⁾，小林陽佑⁴⁾，
岩田貴之⁴⁾，前田博史⁴⁾
1) 岩手医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科，2) 天理よろづ相談所病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科，
3) 岩手県立大学名誉教授，4) ソニー株式会社
146. 東北メディカル・メガバンクプロジェクトのデータを用いた加齢性難聴と飲酒に関する疫学研究
○高橋ひより¹⁾，鈴木 淳¹⁾，川瀬哲明¹⁾，池田怜吉²⁾，香取幸夫¹⁾
1) 東北大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室，2) 岩手医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学講座
147. 難聴によるハンディキャップと孤独感についての検討
○稲木利英，鈴木典子，大川智恵，百束 紘，和佐野浩一郎
東海大学

ランチョンセミナー5：今から始める難聴の遺伝子診断

12:25～13:15

司会 野口佳裕

誰でも分かる遺伝学的検査

西尾信哉

信州大学医学部人工聴覚器学講座

分かりやすい遺伝子診断の実際

北尻真一郎

北尻耳鼻咽喉科

第22群：聴覚障害6

13:20～14:30

座長 仲野敦子

白井杏湖

148. *ACTG1* 遺伝子による進行性難聴を認めた一家系

○江崎友子¹⁾、柴田知紗¹⁾、浅見勝巳²⁾、工藤祥子²⁾、笠原伸洋²⁾、八橋香文²⁾、西尾信哉³⁾、宇佐美真一³⁾

1) あいち小児保健医療総合センター耳鼻いんこう科、

2) あいち小児保健医療総合センター言語聴覚科、3) 信州大学医学部人工聴覚器講座

149. *COCH* 遺伝子変異が原因と考えられた両側感音難聴の1家系

○佐久間直子¹⁾、西尾信哉²⁾、宇佐美真一²⁾、松延 毅¹⁾

1) 日本医科大学付属病院耳鼻咽喉科、2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

150. 難聴家系における新規 *TECTA* 遺伝子変異の同定

○小田尊志¹⁾、石野岳志¹⁾、藤田 陸¹⁾、竹野幸夫¹⁾、宇佐美真一²⁾、西尾信哉²⁾

1) 広島大学大学院耳鼻咽喉科学・頭頸部外科学、2) 信州大学医学部医学科人工聴覚器学

151. 新規 *SMPX* 遺伝子バリエントが同定された難聴の1例

○柴田知紗¹⁾、江崎友子¹⁾、浅見勝巳²⁾、工藤祥子²⁾、笠原伸洋²⁾、八橋香文²⁾、西尾信哉³⁾、宇佐美真一³⁾

1) あいち小児保健医療総合センター耳鼻いんこう科、

2) あいち小児保健医療総合センター言語聴覚科、3) 信州大学医学部人工聴覚器講座

152. 常染色体顕性非症候性難聴の *TMC1* 遺伝子異常による難聴と同定した兄弟例

○藤田陸登¹⁾、石野岳志¹⁾、小田尊志¹⁾、宇佐美真一²⁾、西尾信哉²⁾

1) 広島大学病院耳鼻咽喉科頭頸部外科、2) 信州大学医学部人工聴覚器講座

153. 後天性に難聴を自覚あるいは指摘された *GJB2* 遺伝子バリエント例の検討○グエン ディン ナム¹⁾, 野尻 尚²⁾, 西尾信哉³⁾, 宇佐美真一³⁾, 野口佳裕²⁾³⁾

- 1) 国際医療福祉大学成田病院, 2) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科,
3) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

154. 低音障害型難聴を呈する *MYO7A* 難聴の遺伝学的・臨床的特徴○小泉博美¹⁾, 佐野真一¹⁾, 佐野典子¹⁾, 西尾信哉²⁾, 宇佐美真一¹⁾²⁾

- 1) 協愛医院, 2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

第23群：聴覚障害 7

14:30~15:30

座長 増田佐和子
上原奈津美

155. Auditory Neuropathy を呈した *DIAPH1* バリエント例○佐原聡甫¹⁾, 中西 啓¹⁾, 喜多淳哉¹⁾, 西尾信哉²⁾, 宇佐美真一²⁾, 三澤 清¹⁾

- 1) 浜松医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

156. *DIAPH3* 遺伝子変異による遺伝性難聴家系の 1 例○石谷えみ¹⁾, 近藤英司¹⁾, 東 貴弘¹⁾, 坂本 幸¹⁾, 北村嘉章¹⁾, 西尾信哉²⁾, 宇佐美真一²⁾

- 1) 徳島大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科, 2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座

157. *OPA1* 遺伝子バリエントによる感音難聴の臨床的特徴と進行性○河北真幸¹⁾, 工 稔²⁾, 小林有美子³⁾, 安達美佳⁴⁾, 岡野高之⁵⁾, 山崎博司⁶⁾, 中山 潤⁷⁾, 大平真也⁸⁾,
西尾信哉⁹⁾, 宇佐美真一⁹⁾

- 1) 信州大学耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室, 2) 信州大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室,
3) 岩手医科大学附属病院臨床遺伝学科,
4) 東北大学大学院医学系研究科神経・感覚器病態学講座耳鼻咽喉・頭頸部外科分野,
5) 藤田医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 6) 京都大学医学部附属病院耳鼻咽喉科,
7) 滋賀医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座, 8) 湘南鎌倉総合病院耳鼻咽喉科,
9) 信州大学医学部人工聴覚器講座

158. 遺伝学的検査で *CHD7* 遺伝子バリエントが検出された小児難聴症例の検討○仲野敦子¹⁾, 有本友季子¹⁾, 外池百合恵¹⁾, 松永達雄²⁾

- 1) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科, 2) 東京医療センター臨床遺伝センター

10月17日（金）

159. 地域中核病院における遺伝学的検査の有用性の検討

○大平真也¹⁾²⁾³⁾、宇佐美真一⁴⁾

- 1) 聖マリアンナ医科大学耳鼻咽喉科学講座
- 2) 徳洲会湘南鎌倉総合病院耳鼻咽喉科
- 3) 東邦大学医療センター大森病院耳鼻咽喉科
- 4) 信州大学医学部人工聴覚器講座

160. 難聴の遺伝カウンセリングにおける遺伝カウンセラーの関わり

○安西風花¹⁾²⁾、荒井康裕³⁾、大平真也⁴⁾、岡 晋一郎⁵⁾、宇佐美真一²⁾

- 1) 横浜市立大学附属市民総合医療センター遺伝子診療科
- 2) 信州大学医学部人工聴覚器学講座
- 3) 横浜市立大学附属病院耳鼻咽喉科
- 4) 湘南鎌倉総合病院耳鼻咽喉科
- 5) 国際医療福祉大学三田病院耳鼻咽喉科

第24群：聴覚障害 8

15:30～16:50

座長 松延 毅
水足邦雄

161. 認定こども園における保育者の騒音ばく露に関する実態調査

○横山 栄、小林知尋

一般財団法人小林理学研究所

162. 楽器演奏家の日常的な音響曝露調査—Jazz 演奏者を対象として—

○上田麻理¹⁾、廣江正明²⁾、坂田英明³⁾

- 1) 神奈川工科大学情報学部
- 2) 小林理学研究所
- 3) 川越耳科学クリニック

163. リスニングケア機能搭載イヤホンによる音響曝露軽減効果とshort time TTS の検出に関する検討

○伊藤 卓¹⁾、田中 克²⁾、藤原 舞²⁾、藤川太郎¹⁾、山本 桂¹⁾、澤田光毅¹⁾、堤 剛¹⁾

- 1) 東京科学大学医学部耳鼻咽喉科
- 2) ヤマハ株式会社研究開発統括部

164. 心因性難聴児の発達心理検査

○中原 啓¹⁾²⁾、間 三千夫²⁾、裕田猛真¹⁾

- 1) 地方独立行政法人りんくう総合医療センター耳鼻咽喉科頭頸部外科
- 2) 地方独立行政法人りんくう総合医療センター聴覚・言語支援センター

165. 機能性難聴を呈する子どもの心理発達評価に関する検討

○松本 恵¹⁾²⁾、中川あや³⁾、三好紀子⁴⁾

- 1) 大阪大学大学院人間科学研究科
- 2) 大阪大学大学院連合小児発達学研究所生命情報学
- 3) 市立池田病院
- 4) ためなが温泉病院

166. 機能性難聴小児例と非小児例の検討

○福井淳平, 野尻 尚, 野口佳裕
国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

167. アンケート調査による機能性難聴に対する補聴器の有効性の検討

○柴田章帆¹⁾, 野尻 尚²⁾, 我那覇 章²⁾, 野口佳裕²⁾
1) 国際医療福祉大学成田病院, 2) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

168. 頭内爆発音症候群の2例

○高野峻輔¹⁾, 野尻 尚²⁾, 我那覇 章²⁾, 野口佳裕²⁾
1) 国際医療福祉大学成田病院, 2) 国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第25群：聴覚検査2

8:40~9:50

座長 小池卓二
原田竜彦

169. 「純音閾値モデル」解説—第1回—

伊藤 健
帝京大学耳鼻咽喉科

170. dB SPL・dB HL の区別の学習は必要か？

竹内京子
順天堂大学スポーツ健康科学部

171. 左右差を有する感音難聴者におけるヒアラブルデバイスを用いた聴力測定についての検討

○佐々木彩花¹⁾³⁾、鈴木大介¹⁾、辺土名 貢¹⁾、井澤 幹¹⁾、土居彪悟¹⁾、藤田 航¹⁾、横山珠花¹⁾、
鈴木映里¹⁾、照井詩織¹⁾、神崎 陵¹⁾、富澤晃文²⁾、高野賢一³⁾、新田清一¹⁾
1) 済生会宇都宮病院, 2) 国際医療福祉大学成田保健医療学部,
3) 札幌医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

172. メニエール病症例と健常人におけるワイドバンドティンパノメトリーのアブソーバンス差についての検討

○池田ひとみ¹⁾、牛尾宗貴¹⁾、矢部響樹¹⁾、佐藤美都²⁾、岡田将史³⁾、太田 康¹⁾
1) 東邦大学医療センター佐倉病院耳鼻咽喉科,
2) 東邦大学医療センター佐倉病院臨床生理機能検査部,
3) 東邦大学医療センター佐倉病院リハビリテーション部

173. シュローダー一位相調波複合音を用いた同側耳小骨筋反射測定—新たな蝸牛神経活動の同期性評価法として

原田竜彦¹⁾²⁾
1) 国際医療福祉大学熱海病院, 2) 電気通信大学脳・医工学研究センター

174. 聴覚時間分解能検査の作成—無音検出閾値分布の推定—

○森 周司¹⁾、森本隆司²⁾、岡本康秀³⁾⁴⁾、神崎 晶⁵⁾
1) 九州大学システム情報科学研究院情報学部門, 2) リオン株式会社医療機器事業部,
3) 東京都済生会中央病院耳鼻咽喉科, 4) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科学教室,
5) 国立病院機構東京医療センター感覚器センター

175. 難聴者における多方向音源下追唱能力の評価法の課題

○江洲欣彦¹⁾²⁾, 杉田裕子¹⁾, 原田遼平¹⁾

1) さいたま市民医療センター, 2) 自治医科大学附属さいたま医療センター

第26群：聴覚検査3

9:50~10:50

座長 田淵経司

川島慶之

176. 単音節語音検査用音源に求められる特性 1

—雑音の違いが雑音下語音聴力検査の正答率に与える影響—

○中村 理¹⁾, 米本 清²⁾, 鈴木万達³⁾, 亀井昌代³⁾, 池田怜吉³⁾, 平海晴^{—3)4)}, 畠山 恵⁵⁾, 志磨村早紀⁵⁾, 北 義子⁶⁾, 小杉裕子⁵⁾, 岡野由実⁷⁾, 堂脇 優¹⁾, 小林陽佑¹⁾, 岩田貴之¹⁾, 前田博史¹⁾

1) ソニー株式会社, 2) 岩手県立大学名誉教授, 3) 岩手医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科, 4) 天理よろづ相談所病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 5) 武蔵野大学人間科学部, 6) 武蔵野大学人間科学研究所, 7) 群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科

177. 単音節語音検査用音源に求められる特性 2

—雑音下語音検査における話者が各年代の異聴傾向に与える影響—

○鈴木万達¹⁾, 亀井昌代¹⁾, 池田怜吉¹⁾, 平海晴^{—2)}, 米本 清³⁾, 中村 理⁴⁾, 堂脇 優⁴⁾, 小林陽佑⁴⁾, 岩田貴之⁴⁾, 前田 史⁴⁾

1) 岩手医科大学耳鼻咽喉科頭頸部外科, 2) 天理よろづ相談所病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 3) 岩手県立大学名誉教授, 4) ソニー株式会社

178. 単音節語音検査用音源に求められる特性 3

—話者の異なる音源が雑音下での異聴傾向に与える影響—

○柳澤 瞳¹⁾²⁾, 畠山 恵³⁾, 志磨村早紀³⁾, 北 義子¹⁾, 小杉裕子³⁾, 河路琢図⁴⁾, 米本 清⁵⁾, 中村 理⁵⁾, 堂脇 優⁶⁾, 小林陽佑⁶⁾, 前田博史⁶⁾

1) 武蔵野大学人間科学研究所, 2) 京都田辺中央病院, 3) 武蔵野大学人間科学部, 4) 武蔵野大学大学院, 5) 岩手県立大学名誉教授, 6) ソニー株式会社

179. 単音節語音検査用音源に求められる特性 4

—検査語数削減が雑音下検査の精度維持に与える影響—

○河路琢図¹⁾, 柳澤 瞳²⁾³⁾, 畠山 恵⁴⁾, 志磨村早紀⁴⁾, 北 義子²⁾, 小杉裕子⁴⁾, 米本 清⁵⁾, 中村 理⁶⁾, 堂脇 優⁶⁾, 小林陽佑⁶⁾, 前田博史⁶⁾

1) 武蔵野大学大学院, 2) 武蔵野大学人間科学研究所, 3) 京都田辺中央病院, 4) 武蔵野大学人間科学部, 5) 岩手県立大学名誉教授, 6) ソニー株式会社

10月17日(金)

180. 単音節語音検査用音源に求められる特性 5
—話者の異なる音源による静寂下語音明瞭度の差異—
○岡野由実¹⁾, 榎 陽斗¹⁾, 米本 清²⁾, 中村 理³⁾, 堂脇 優³⁾, 小林陽佑³⁾
1) 群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科, 2) 岩手県立大学名誉教授,
3) ソニー株式会社
181. 単音節語音検査用音源に求められる特性 6
—話者の声質に対する主観評価と語音明瞭度との関係—
○榎 陽斗¹⁾, 岡野由実¹⁾, 米本 清²⁾, 中村 理³⁾, 堂脇 優³⁾, 小林陽佑³⁾
1) 群馬パース大学リハビリテーション学部言語聴覚学科, 2) 岩手県立大学名誉教授,
3) ソニー株式会社

第27群：補聴5

10:50~12:00

座長 杉内智子
泉 修司

182. 補聴器外来業務と補聴器自院処方を支援する統合データベースの構築と活用
○森安宏明, 石川聡美, 菊池奈美, 金谷浩一郎
耳鼻咽喉科かめやまクリニック
183. 医療者主導の補聴器診療を目指す言語聴覚士を対象とした遠隔育成事業 第一報
○戎野ちひろ¹⁾²⁾, 大石直樹¹⁾³⁾, 山田浩之³⁾⁴⁾, 鈴木大介⁵⁾, 太田久裕⁴⁾, 西山崇経¹⁾³⁾, 新田清一³⁾⁵⁾
1) 慶應義塾大学病院聴覚センター, 2) 日野市立病院耳鼻咽喉科,
3) 慶應義塾大学病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科, 4) けいゆう病院耳鼻咽喉科,
5) 済生会宇都宮病院耳鼻咽喉科
184. 当院における補聴器外来の現況と聴覚ケアの検討
○井田彩織¹⁾³⁾, 杉内智子¹⁾³⁾, 佐藤紀代子²⁾³⁾, 明神里香³⁾, 鈴木美華¹⁾, 根岸 歩³⁾
1) 杉内医院, 2) 県立広島大学保健福祉学部, 3) ことばの森
185. 持参補聴器外来での補聴器導入経緯別の形態と装用効果についての検討
○吉川藻汐¹⁾, 内山唯史¹⁾, 長瀬航輝¹⁾, 西川勇大¹⁾, 相澤圭洋²⁾, 荒井康裕²⁾
1) 横浜市立大学附属病院リハビリテーション部耳鼻咽喉科,
2) 横浜市立大学附属病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

186. 当院補聴器外来で装用訓練を行った難聴患者の臨床像
—補聴器外来開設から8年間の検討—

○加瀬里菜¹⁾, 山田浩之¹⁾²⁾, 太田久裕¹⁾, 吉田有砂¹⁾, 布施慈光¹⁾, 羽富彩映¹⁾, 大石直樹²⁾

1) けいゆう病院耳鼻咽喉科, 2) 慶應義塾大学医学部耳鼻咽喉科学教室

187. 日本語話者の使用する補聴器の周波数特性と語音明瞭度の関係について

○砥綿敬史¹⁾, 稲木利英²⁾, 和佐野浩一郎²⁾

1) 東海大学医学部付属病院リハビリテーション技術科,

2) 東海大学医学部専門診療学系耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

188. 聴覚障害をもつ保健医療従事者の補聴機器およびコミュニケーション方法の分析

○栗原房江¹⁾, 廣田栄子²⁾

1) 東京大学大学院経済学研究科, 2) 筑波大学

ランチョンセミナー6

12:25～13:15

司会 鈴木光也

ワイドバンドティンパノメトリを知る～中耳疾患から内耳疾患の診断へ～

我那覇 章

国際医療福祉大学成田病院耳鼻咽喉科・頭頸部外科

第28群：聴覚リハビリテーション キーノートレクチャー

13:30～13:50

座長 東野哲也

189. 聴覚障害児・者のための音楽活動～24年間の活動報告と現在の音楽トレーニング～

○松本祐二¹⁾²⁾⁴⁾⁵⁾，丸山典子¹⁾²⁾，内之倉勝哉¹⁾³⁾

- 1) 一般社団法人難聴者音楽感受研究所， 2) 昭和医科大学， 3) 城西国際大学，
4) 洗足学園音楽大学， 5) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

第29群：聴覚リハビリテーション

13:50～14:40

座長 野原 信
白馬伸洋

190. 高精細音響技術を用いたリハビリテーションにおける雑音下言語聴取能改善効果と聴覚中枢との関連性

○石野岳志，小田尊志，藤田陸登，竹野幸夫
広島大学医学部耳鼻咽喉科頭頸部外科

191. 聴覚リハビリテーションと処理速度の関係

○石渡智一¹⁾，古川大輔¹⁾，村西幸代¹⁾，関田恭子²⁾³⁾

- 1) 君津中央病院リハビリテーション科言語聴覚室， 2) 君津中央病院耳鼻いんこう科，
3) 千葉大学医学部附属病院耳鼻咽喉・頭頸部外科

192. 文章追唱法による追唱率の多角的検討
—文章追唱訓練前後の追唱率改善度と語音弁別能との比較—

○三瀬和代¹⁾，坂本璃彩¹⁾，藤川太郎¹⁾，三輪 徹¹⁾，浅井康徳¹⁾，樽井彬人¹⁾，篠原義郎²⁾，白馬伸洋¹⁾
1) 帝京大学医学部附属溝口病院耳鼻咽喉科， 2) 愛媛ヒアリングエイド

193. 文章追唱法による追唱率の多角的検討
—文章追唱訓練開始時における追唱率と年齢及び最高語音明瞭度との比較—
○坂本璃彩¹⁾, 三瀬和代¹⁾, 藤川太郎¹⁾, 三輪 徹¹⁾, 浅井康德¹⁾, 樽井彬人¹⁾, 篠原義郎²⁾, 白馬伸洋¹⁾
1) 帝京大学医学部附属溝口病院耳鼻咽喉科, 2) 愛媛ヒヤリングエイド
194. 回復期リハビリテーション病棟における聴覚スクリーニング：認知機能・疾患別にみた耳鼻科受診希望との関連
○杉田裕子¹⁾, 江洲欣彦²⁾³⁾, 原田遼平⁴⁾
1) さいたま市民医療センターリハビリテーション科, 2) さいたま市民医療センター耳鼻咽喉科,
3) 自治医科大学付属さいたま医療センター耳鼻咽喉科, 4) さいたま市民医療センター臨床検査科

第30群：聴性誘発反応

14:40～15:30

座長 伊藤 吏
千葉寛之

195. 聴力精査が困難であった障害児に対する他覚的聴力検査の試み
○藤生美奈子¹⁾, 別府玲子²⁾
1) 愛知県青い鳥医療療育センターリハビリテーション部,
2) 愛知県青い鳥医療療育センター耳鼻咽喉科
196. SENTIERO を用いた CE-Chirp ASSR と Peep show test での聴覚閾値との関係性について
○浅見勝巳¹⁾, 工藤祥子¹⁾, 笠原伸洋¹⁾, 江崎友子²⁾, 柴田知紗²⁾
1) あいち小児保健医療総合センター耳鼻いんこう科言語聴覚科,
2) あいち小児保健医療総合センター耳鼻いんこう科診療科
197. Paired-click 刺激法を用いた聴性脳幹反応による蝸牛シナプス障害の評価
○藤平晴奈¹⁾, 古川茂人²⁾³⁾⁴⁾, 柏野牧夫¹⁾, 森 周司¹⁾
1) 九州大学システム情報科学研究所, 2) 静岡社会健康医学大学院大学, 3) 静岡県立総合病院,
4) NTTコミュニケーション科学基礎研究所
198. 純音刺激に基づく ASSR による周波数内時間分解能の評価
○大澤孝太郎¹⁾, 門脇誠一¹⁾, 森本隆司³⁾, 田淵経司¹⁾, 岡本秀彦²⁾
1) 筑波大学耳鼻咽喉科頭頸部外科, 2) 国際医療福祉大学医学部医学科生理学教室,
3) リオン株式会社

10月17日(金)

199. 聴性定常反応を用いた周波数選択性の評価

○白鳥 優¹⁾, 門脇誠²⁾, 小淵千絵³⁾, 岡本秀彦⁴⁾

- 1) 自治医科大学附属さいたま医療センター, 2) 筑波大学附属病院耳鼻咽喉科,
3) 筑波大学人間系, 4) 国際医療福祉大学医学部

第31群：聴覚障害児療育3

15:30~16:50

座長 井上理絵
坂田英明

200. 日本語版 KINDL[®]を用いた聴覚障害児のQOL評価

○及川絵美子, 水川知子, 水川敦裕
みずかわ耳鼻咽喉科医院

201. 横浜市における難聴乳幼児の動向 難聴乳幼児実態調査2001~2022

○島村広美, 持松いづみ
横浜市総合リハビリテーションセンター発達支援部難聴幼児課

202. ろう・難聴生徒の支援の認識に関する予備的研究 —難聴の高校生へのインタビュー調査に基づく検討—

下中村 武
岡山大学学術研究院教育学域特別支援教育講座

203. セルフアドボカシー教育におけるロールプレイの効果

木村淳子
横浜市立ろう特別支援学校

204. 就学前後期聴覚障害児における状況文脈に関する言及した理由説明の発達の变化について

○野原 信¹⁾³⁾, 廣田栄子²⁾, 仲野敦子³⁾, 有本友季子³⁾, 猪野真純⁴⁾, 奥沢 忍⁵⁾

- 1) 帝京平成大学健康メディカル学部言語聴覚学科, 2) 筑波大学,
3) 千葉県こども病院耳鼻咽喉科, 4) 千葉県循環器病センターリハビリテーション科,
5) つくば市立竹園東小学校

205. 相手への配慮が必要なコミュニケーション場面での聴覚障害児の意思表示に関する検討

○笹目友香¹⁾, 山本弥生²⁾, 小淵千絵³⁾

- 1) 筑波技術大学障害者高等教育研究支援センター,
2) 国際医療福祉大学成田保健医療学部言語聴覚学科, 3) 筑波大学人間系

206. 難聴児が在籍する地域校に対する多職種連携による支援の取り組み

○臼井智子¹⁾，稲葉尚彦²⁾，須川愛弓²⁾，北野雅子³⁾，林 希朗⁴⁾，岡田留美⁵⁾，四方菜帆子⁵⁾，坂田典子⁵⁾，
増田佐和子¹⁾

- 1) 国立病院機構三重病院耳鼻咽喉科， 2) 国立病院機構三重病院リハビリテーション科，
- 3) 三重大学大学院医学系研究科耳鼻咽喉・頭頸部外科，
- 4) 三重大学医学部附属病院リハビリテーション部，
- 5) 三重県子ども心身発達医療センター難聴児支援課（難聴児支援センター）

207. “まだ大丈夫”の代償：見逃される軽中等度難聴児と多職種で挑む支援

○茂木雅臣，小原 透，篠原悠子，近松一郎
群馬大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学

第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会は一般社団法人曾田豊二記念財団，公益財団法人国際耳鼻咽喉科学振興会，コストコホールセールジャパン株式会社より助成いただきました



一般財団法人曾田豊二記念財団
The Soda Toyoji Memorial Foundation



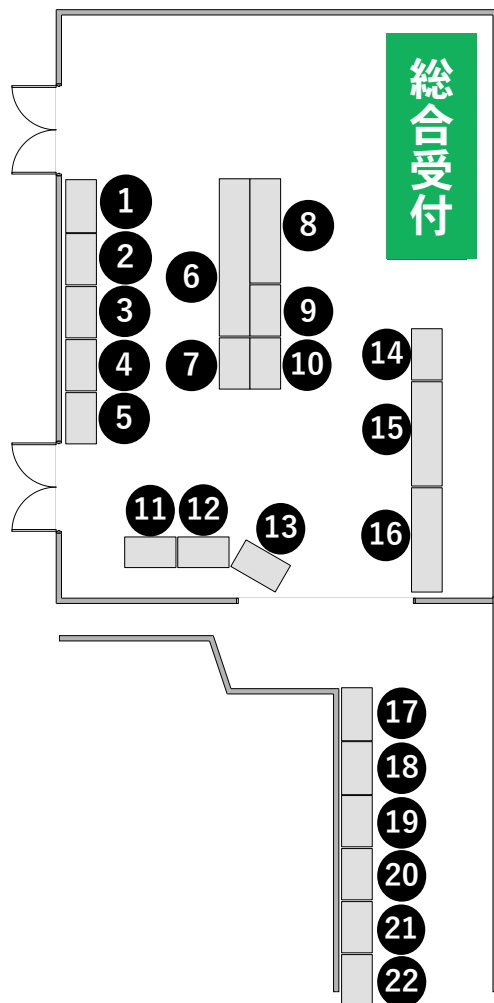
企業展示会場案内

展示期間：第1日目 10月16日（木） 8:30～18:30

第2日目 10月17日（金） 8:30～15:00

会場：成田国際文化会館

大ホールホワイエ、ロビー



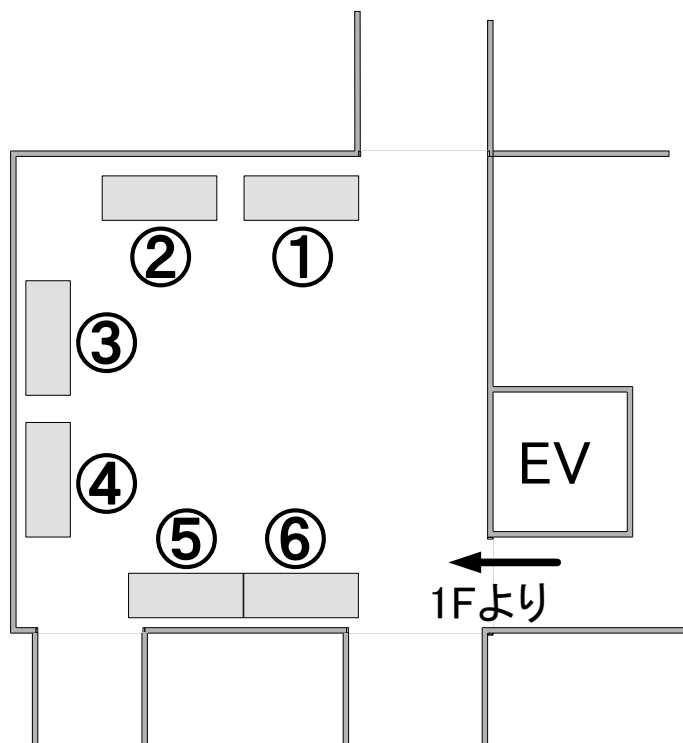
出展企業一覧

- ① (株)日本コクレア
- ② ソノヴァ・ジャパン(株)
- ③ スターキージャパン(株)
- ④ PATH MEDICAL GmbH
- ⑤ (株)モリタ製作所
- ⑥ リオン(株)
- ⑦ (株)名優
- ⑧ メドエルジャパン(株)
- ⑨ セオリアファーマ(株)
- ⑩ マキチエ(株)
- ⑪ WS オーディオロジージャパン(株) シグニア補聴器
- ⑫ WS オーディオロジージャパン(株) ワイデックス補聴器
- ⑬ ブルームヒアリング(株)
- ⑭ (株)ビー・エム・エル
- ⑮ デマント・ジャパン(株)
- ⑯ ダイアテックジャパン(株)
- ⑰ 日本光電工業(株)
- ⑱ GN ヒアリングジャパン(株)
- ⑲ 永島医科器械(株)
- ⑳ コルチトーン補聴器(株)
- ㉑ (株)永和システムマネジメント
- ㉒ (株)三和製作所

患者団体展示会場案内

会 場：成田国際文化会館

2F ロビー



- ① 全日本難聴者・中途失聴者団体連合会
- ② 人工内耳友の会 ACITA
- ③ 声援隊
- ④ NPO 信州きこえとことばのセンターやまびこ
- ⑤ 特定非営利活動法人 人工聴覚情報学会
- ⑥ 特定非営利活動法人 みみトモランド

協賛企業一覧

第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会を開催するにあたり、皆様より多大なご支援とご協力を賜りました。ここに謹んで御礼申し上げます。

第70回日本聴覚医学会総会・学術講演会
会長 野口 佳裕

協賛企業

アニメ株式会社

株式会社永和システムマネジメント

コルチトーン補聴器株式会社

株式会社三和製作所

GN ヒアリングジャパン株式会社

スターキージャパン株式会社

セオリアファーマ株式会社

ソノヴァ・ジャパン株式会社

ダイアテックジャパン株式会社

WS オーディオロジージャパン株式会社

シグニア補聴器

WS オーディオロジージャパン株式会社

ワイデックス補聴器

デマント・ジャパン株式会社

永島医科器械株式会社

NISSHA ゾンネボード製薬株式会社

日本光電工業株式会社

株式会社日本コクレア

日本メドトロニック株式会社

PATH MEDICAL GmbH

株式会社ビー・エム・エル

ブルームヒアリング株式会社

マキチエ株式会社

株式会社名優

メドエルジャパン株式会社

株式会社モリタ製作所

ユフ精器株式会社

米屋株式会社

リオン株式会社

(五十音順・敬称略)
(2025年9月16日現在)

わたしの補聴器

あなたの声を聞くための

きこえは絆

大切な誰かの言葉や、好きな音楽に、ふと耳を澄ますようにごく自然に使って欲しいから。
あなたのきこえに寄り添って、あなたのためにカスタマイズされた最適な補聴器を届けます。
補聴器をもっと快適に、あなたらしく。マキチエは、補聴器であなたと繋がりたい。

Heart
MC1

今秋
発売予定

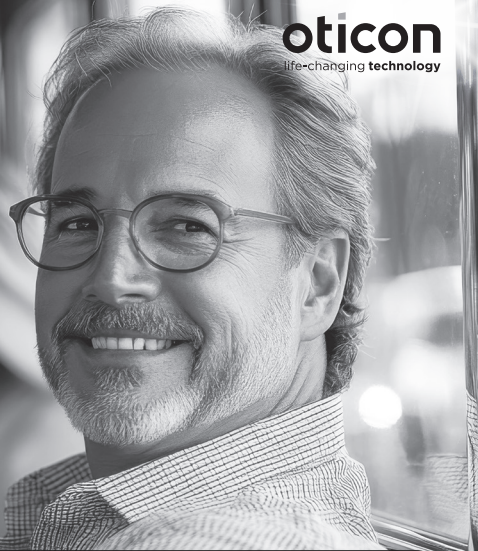


指定管理医療機器
耳かけ型補聴器マキチエハート


マキチエ

お出かけです。 聞こえと一緒に お気に入りの

DNN (高度人工知能) 搭載補聴器



オーティコンのDNN (ディープニューラルネットワーク) 搭載補聴器とは?
1,200万の音の情景を学習させた高度な人工知能<DNN>を搭載した補聴器。
常時作動させることで、さまざまな環境でもより自然な聞こえが実現します。

オーティコンの高度AI搭載補聴器が豊富にラインナップ!

OTICON | Intent
オーティコン | インテント

毎日を楽しみ、アクティブに過ごす方へ



あなたの“聞きたい”や“したい”ことをアシストして音をとらえる、世界初*“じぶんセンサー”を搭載。会話に集中したい、雰囲気を楽しみたいという思いを自在に叶えます。

*2024年2月現在

販売名: シリウス耳かけ型

【じぶんセンサーとは】
人がコミュニケーションする際に、無意識にとる頭や体の動きと連動して必要な音を選びだす新機能センサーです。

医療機器認証番号: 306AIBZX00010000

OTICON | Own SI
オーティコン | オウン SI

目立たないサイズ感を重視する方へ



オーティコン史上最小の目立たないデザインで、プレミアムな音質と一日中快適な装着感を実現。一人ひとりの耳に合わせてフルオーダーメイドで提供します。

販売名: シリウス耳あな型

医療機器認証番号: 307AIBZX00004000

OTICON | Jet PX
オーティコン | ジェットPX

シンプルでやさしい補聴器をお求めの方へ



基本性能を備え、どこにいてもより自然で疲れにくい聞こえを実現します。耳かけ型・耳あな型、豊富なスタイルとカラーバリエーションから選べるお求めやすい補聴器です。*Jet PX1のみ

販売名: ボラリス耳あな型 医療機器認証番号: 307AIBZX000050000

販売名: ボラリス耳かけ型 医療機器認証番号: 307AIBZX000060000

オーティコン補聴器

本社: 〒140-0002
東京都品川区東品川 4-12-3 品川シーサイド TS タワー11階

www.oticon.co.jp



脳の間く働きをサポートする
BrainHearing™ 技術を搭載
ブレインヒアリング



SYNCHRONY2

SYNCHRONY2 は、個々の蝸牛に対応した柔軟な電極アレイ、3.0 テスラに対する条件付 MRI 対応*、ピンによる固定、独立した出力コンデンサなど、SYNCHRONY の包括的なポートフォリオに加え、左右対称の電極リードデザインを備えています。

SYNCHRONY2

電極リードの中央配置

左右対称の中心電極リード配置によりインプラントの設置や手術の取り扱いをシンプル化

S-Vector マグネット

独自の設計により、MRI の安全性* やアーチファクトのサイズに影響を及ぼすことなく磁石の強度を 25% 向上**

個々の蝸牛に合わせた電極選択

10 種類のサイズバリエーションから個々の蝸牛サイズに合わせて電極アレイを選択可能

緑色マーカードット

電極の挿入深度をコントロールしやすくする視認性の高い緑色マーカー

* SYNCHRONY2 を装着された方は、添付文書に記載されている条件に従い 0.2、1.0、1.5、3.0 テスラで MRI 検査を受けることができます。(注：3.0 テスラは SYNCHRONY2 および SYNCHRONY のみ)

** 当社調べ

販売名：メドエル人工内耳 SYNCHRONY2 承認番号：30400BZI00025000

販売名：メドエル人工内耳 SYNCHRONY2 FLEX 承認番号：30400BZI00026000

選任製造販売業者

MED^oEL

メドエルジャパン株式会社

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台2-1-20 5階

TEL: 03-5283-7266 (代表) FAX: 03-5283-7265

<https://www.medel.com/ja/>

メドエルジャパン カスタマーサポートダイヤル

さー よい み み
0120-30-4133

受付時間：平日午前9時～午後5時
(土日祝日、年末年始は休業いたします)

e-mail info@mlj-direct.com

FAX 03-5283-7694

部品購入専用WEBサイト メドエルダイレクト

<http://mlj-direct.com/>

Science **made** smarter



Titan タイタン

～ WBTで、中耳機能をより深く、より広く評価 ～

Titanは、ワイドバンドティンパノメトリー（WBT）により、中耳機能の音響的特性を広帯域の連続周波数で可視化します。

- 226～8000Hzの広帯域音を用いた測定で得られる3Dティンパノグラムは、より多角的な中耳機能の評価に寄与
- 本体またはPCからの操作に対応
- スクリーニング・診断・臨床研究向けに構成を選択可能

販売名：Interacoustics タイタン

医療機器認証番号：224AABZX00118000



タイタンの詳細に
ついてはこちらから！



Interacoustics

ReSound GN

世界最小 AI補聴器^{※1}

あなたの可能性を引き出す人工知能

新製品 リサウンド・ビビア™

GNヒアリングジャパン株式会社



0120-921-310

pro.resound.com

※1 RIE、2025年2月時点

2025年1月作成

薬価基準収載

耳鳴緩和剤

ニコチン酸アミド・パパペリン塩酸塩 配合剤

ストミンA[®] 配合錠

STOMIN A COMBINATION TABLETS

効能又は効果、用法及び用量、警告・禁忌を含む注意事項等情報等については電子添文を参照ください

NISSHA

製造販売元 NISSHAゾンネボード製薬株式会社

[文献請求先及び問い合わせ先]

〒193-0832 東京都八王子市散田町 5-7-14

TEL 0120-042-171 FAX 042-673-6489

受付時間：8時30分～17時(土日祝日、その他当社の休業日を除く)

医療関係者向けホームページ <https://www.zonnebodo.co.jp>

騒音から耳を護る聴覚保護具

“聞こえる”耳栓 クオリネ[®]

20dB
Down ↓

- ✓ 自然でクリアな聞こえ
- ✓ 水洗いOKで繰り返し使える
- ✓ 柔らかく耳が痛くならない



目立たずに装着できる



聴覚過敏

騒音対策

[製造販売元] 株式会社 名優 〒276-0042 千葉県八千代市ゆりのき台3-9-2 TEL:047-480-6161 FAX:047-480-6162 <https://www.meilleur.co.jp>